

# 市営総合運動場テニスコート改修工事

図面リスト			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書（1）	A-15	本部席・器具庫エリア計画図
A-02	特記仕様書（2）	A-16	観客席詳細図
A-03	特記仕様書（3）	A-17	階段部詳細図
A-04	計画平面図	A-18	手足洗い場詳細図
A-05	横断図（1）	A-19	物置詳細図
A-06	横断図（2）	A-20	付帯施設計画図
A-07	構造図	A-21	付帯設備詳細図
A-08	撤去平面図	E-01	電気設備工事特記仕様書
A-09	計画概要図	E-02	照明器具姿図
A-10	舗装区分図	E-03	照明制御盤・結線図
A-11	排水計画図	E-04	新設 照明設備図
A-12	困障計画図	E-05	撤去 照明設備図
A-13	困障構造図（1）	E-06	照度分布図（参考）
A-14	困障構造図（2）	M-01	機械設備平面図

2026年 5月

**B** 株式会社 馬場設計

市営総合運動場テニスコート改修工事		設計図	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																								
<b>I 工事概要</b> 1. 工事場所 山梨県韮崎市本町四丁目 地内 2. 敷地面積 ≒4,000㎡ 3. 工事種目 <ul style="list-style-type: none"> <li>撤去工</li> <li>土工</li> <li>擁壁工</li> <li>付帯工</li> <li>舗装工</li> <li>テニスコート工事</li> <li>電気設備工事</li> <li>給排水設備工事</li> </ul>			2章 仮設工事	3. 仮設物 監督職員事務所の設置： ・必要 ○不要 ◎監督員事務所の規模、設備、備品等 <ul style="list-style-type: none"> <li>( )号(会議室( )㎡を含む)</li> <li>( )号に会議室( )㎡を加えた規模</li> <li>専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他；</li> </ul> 受注者事務所の設置： ○必要 ・不要 ◎受注者事務所の規模、設備、備品等 <ul style="list-style-type: none"> <li>( )号(会議室( )㎡を含む)</li> <li>( )号に会議室( )㎡を加えた規模</li> <li>専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他；</li> </ul> 構内既存の施設： ○利用できない ・利用できる【・有償 ・無償】 構内既存の施設： ○利用できない ・利用できる【・有償 ・無償】 <ul style="list-style-type: none"> <li>動力以外利用できる【・有償 ・無償】</li> </ul> 種別： ○仮囲い用成型鋼板；H=3.0m,t=1.2mm ◎既存テニスコート周囲5m範囲へ設置(仮設計画図提出) <ul style="list-style-type: none"> <li>塗装溶融亜鉛メッキ鋼板波板；H=1.8m,t=0.19mm</li> <li>ガードフェンス；H=1.8m ・A型バリアード；H=0.8m</li> </ul> 塗装： ・単色；片面SOP塗 ・模様； 門扉(施錠付)： <ul style="list-style-type: none"> <li>種別 ○シャドード ・バリアード ・ ◎テニスコート北西側へ設置(仮設計画図提出)</li> <li>形状： ・W3.6m×H4.5m ○W6.0m×H4.5m</li> </ul> ・工事現場からの落下物、飛散物による危害防止は下記又は同等以上の措置をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>防護鉄網 ・防護シート ・防護網 ・防音シート ・防音バリアード ・その他；</li> </ul> ・洗濯ビット(幅3m×長さ5m×厚さ20cm 程度の土間コンクリート、給排水設備共) <ul style="list-style-type: none"> <li>○洗濯装置(高圧洗浄装置程度)</li> <li>既設排水溝や排水管、会所等の撤去時には、仮設の排水設備を設け、排水上支障のないようにする。</li> </ul>	4章 地業工事	5.5 アースドリル工法、リバーシ工法 及びオールシング工法 5.6 場所打鋼管コンクリート杭工法 及び拡底杭工法 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・ 杭孔壁の超音波測定： ・行なわない ・行う 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 ・ 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・ 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 ・ 6. 砂利、砂、捨てコンクリート地業等 砂地業の種類： ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ・ 防湿層の材料： ※ポリエチレンフィルム t=0.15mm ・ 砂利及び砂地業の厚さ： ○図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm ・ 捨てコンクリートの厚さ： ○図示 ※50mm ・ mm ・120mm ・150mm ・ 床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示 床下防湿層の範囲： ・図示 ・																										
特記仕様書 1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。 2. 本特記仕様書における採用事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>項目欄は番号等に ○ 印を付したものを適用する。</li> <li>項目欄に ◎ 印を付し特記事項欄に ○ 印を付していない場合は標準仕様書による。</li> <li>特記事項は ○ 印を付したものを適用する。但し ○ 印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。○ 印と ◎ 印を付した場合は共に適用する。</li> </ol> 3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。 <ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省大臣官房官長官営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版</li> <li>国土交通省大臣官房官長官営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 令和7年版</li> </ul> 4. その他事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>各項目欄の番号(例：1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する</li> <li>各項目欄の番号(例：表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする</li> <li>各項目欄の番号(例：1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする</li> </ul>			3章 土工	3.* 落下物、飛散物等による危害防止 3.* 洗濯設備 3.* 仮排水 2.3 埋戻し及び盛土 2.5 建設発生土の処理	5章 鉄筋工事	1.* 鉄筋工事 2.1 鉄筋 2.2 溶接金網 3.4 継手及び定着 3.5 鉄筋のかぶり厚さ、間隔 3.7 各部配筋 4.10 圧接完了後の圧接部試験 5.3 工法 5.5 施工完了後の継手部試験 6.3 工法 6.5 施工完了後の熔接部試験 ・本章の事項は構造特記仕様書による 2. 材料 鉄筋の種類： ・SR295 ○SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示 ・ 溶接金網の寸法、径： ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示 ・ 3. 加工及び組立 継手の種類： ○重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械継手 ・溶接継手 継手の位置： ・図示 ・ 柱主筋の重ね継手長さ： ・40d(50d) ・図示 ・ 梁主筋の重ね継手長さ： ・40d(50d) ・図示 ・ 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ： ※40d(50d) ・図示 ・ 先組み工法等の継手の位置： ・図示 ・ 鉄筋の定着長さ： ※表5.3.4による ・図示 ・ 折曲げ定着の方法： ※図5.3.3による ・図示 ・ 機械式定着工法の適用箇所、種類： ・図示 ・ 鉄筋の最小かぶり厚さ： ※表5.3.6による ・図示 ・ 溶接金網の最小かぶり厚さ： ※表5.3.6による ・図示 ・ 土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合)： ・図示 ・40mm ・50mm ・60mm ・ 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示 ・ 各部の配筋： ○図示 ・ 4. ガス圧接 抜取試験の方法： ※超音波探傷試験 ・引張試験 ・ 5. 機械式継手 適用箇所： ・図示 ・ 性能・種類等： ・図示 ・ 鉄筋相互のあき： ・図示 ・ 試験は(公社)日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。抜取り1ロットは同一作業班の1日当たりの継手作業箇所とする。(概ね200箇所程度) 外観検査方法： ・目視及び計測 ・図示 ・ 超音波探傷検査の対象： ・抜取り1ロット当たり10箇所 ・抜き取り1ロット当たり5%程度 ・ 超音波探傷検査で不合格となった場合の措置： ・全数検査を行い是正する ・図示 ・ 6. 溶接継手 適用箇所： ・図示 ・ 性能・工法等： ・図示 ・ 鉄筋相互のあき： ・図示 ・ 試験は(公社)日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。抜取り1ロットは同一作業班の1日当たりの継手作業箇所とする。(概ね200箇所程度) 外観検査方法： ・目視及び計測 ・図示 ・ 超音波探傷検査の対象： ・抜取り1ロット当たり30箇所 ・抜き取り1ロット当たり15%程度 ・ 超音波探傷検査で不合格となった場合の措置： ・全数検査を行い是正する ・図示 ・																										
1章 各章共通事項	1.4 工事実績情報登録 1.* 建築基準法の風圧 ・積雪に関する規定 2.4 工事の記録等 3.3 電気保安技術者 3.5 施工条件 3.11 発生材の処理等 4.* 使用材料 5.9 化学物質の濃度測定 7.1 完成時の提出図書 7.2 完成図 7.4 技能士	(CORINS)への登録： ○行う ・行わない 基準風速： ○V <sub>0</sub> =30(m/s) 平成12年建告第1454号第2 地表相粗度区分： ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ ・ 積雪区分： ○区域=(27)／α=0.0005／β=6.26／γ=0.12／R=40 平成12年建告第1445号 別表 工事報告書の書式等： ・協議により決定 ・指定の書式 ○任意の書式 ・ 技術者の配置： ○配置する(・常駐 ○非常駐) ・配置しない 施工順序等の制約： ○無し ・有り【・現場説明書による ・図示 ・ 工事車両の駐車場所： ・図示 ・現場説明書による ○ 監督員との協議による 資材、機材置場： ・図示 ・現場説明書による ○ 同上 発生土仮置場： ・図示 ・現場説明書による ○ 同上 その他の施工条件： ・図示 ・現場説明書による ・ 発注者への引渡発生材： ※金属類及びPCB含有物 ・図示 ・ 特別管理産業廃棄物の有無： ・無し ・有り【分類； ・図示 ・ 発生材のリサイクル： ・図示 ・ ・仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量はJ I S等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。 濃度測定： ・未実施 ・実施 化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。 測定対象物質： ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・ステレン ・図示 ・ 測定方法： ・簡易法 ・バッシブ型採取機器 ・測定バッジ； 測定対象室： ・図示 ・ 測定箇所数： ・図示 ・箇所 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。 完成図： ○必要 ・不要 保全に関する資料： ○必要 ・不要 提出部数： ※各2部 ○3部 種類： ※表1.7.1 ・一般図 ○実施設計竣工図一式 ○施工承認図 ・ 記入内容： ※表1.7.1 ・図示 ・ 提出要領： ○データ形式【○CAD ○PDF ・ ○A3原稿2つ折り製本 ・ ・技能士の活用を積極的に図ること。施工計画書に技能士の氏名、資格証明を添付すること。 なお、防水工事及び塗装工事については技能士の活用を必須とする。	4章 地業工事 1.* 地業工事 2.2 試験杭 2.3 杭の載荷試験 2.4 地盤の載荷試験 3.1 一般事項 3.3 材料 3.4 セメント工法 3.5 特定埋込杭工法 4.3 材料 4.5 継手 5.1 一般事項 5.4 材料その他	・本章の事項は構造特記仕様書による 2. 試験及び報告書 試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示 ・ 載荷試験： ・水平試験 ・鉛直試験 ・ 試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示 ・ 試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ 載荷試験： ・平板載荷試験 ・ 試験の位置、載荷荷重： ・図示 ・ 試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ 3. 既製コンクリート杭地業 工法の適用： ・セメント工法 ・特定埋設杭工法 材料の強度等による区分： ・ 杭の寸法、継ぎ手の箇所数、杭先端形状： ・図示 ・ 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・ アースオーガーの支持地盤への掘削深さ： ・図示 ・ 杭の支持地盤への根入れ深さ： ・図示 ・ 杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 ・ 根固め液の管理試験： ※標準仕様書及び表4.3.1による ・ 杭周固定液の管理試験： ※標準仕様書及び表4.3.1による ・ 施工法の種類： ・図示 ・ 支持地盤の位置、種類： ・図示 ・ 杭の継手の工法： ・A-7溶接 ・無溶接継手(工法； ) 杭頭の処理法： ・図示 ・ 4. 鋼杭地業 材料の種類： ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M ・図示 杭の継手の工法： ・自動A-7溶接 ・半自動A-7溶接 ・ 5. 場所打ちコンクリート杭地業 帯筋の加工、組立： ・図示 ・ 鉄筋の最小かぶり厚さ： ・図示 ・60mm ・ mm 鉄筋かごの補強： ・図示 ・ 組立鉄筋の節の継手： ※重ね継手 ・図示 ・ セメントの種類： ・普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種 ・混合セメント ・図示 ・ コンクリートの設計基準強度： ・F <sub>c</sub> =21N/mm <sup>2</sup> ・F <sub>c</sub> =24N/mm <sup>2</sup> ・図示 コンクリートの種別： ・A種 ・B種 ・図示 コンクリートのスランプ： ・18cm ・15cm ・図示 コンクリートの構造体強度補正值(S)： ・図示 ※3N/mm ・ 鋼管部分の材料： ※図示 ・																												
								<table border="1"> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託</td> </tr> <tr> <td>図面名</td> <td colspan="3">特記仕様書(1)</td> </tr> <tr> <td>作成年月日</td> <td>令和</td> <td>年</td> <td>月 日</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>1:200</td> <td>図面番号</td> <td>A-01</td> </tr> <tr> <td>会社名</td> <td colspan="3">株式会社 馬場設計</td> </tr> <tr> <td>事業者名</td> <td colspan="3">韮崎市</td> </tr> </table>	工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託			図面名	特記仕様書(1)			作成年月日	令和	年	月 日	縮尺	1:200	図面番号	A-01	会社名	株式会社 馬場設計			事業者名	韮崎市		
工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託																															
図面名	特記仕様書(1)																															
作成年月日	令和	年	月 日																													
縮尺	1:200	図面番号	A-01																													
会社名	株式会社 馬場設計																															
事業者名	韮崎市																															

章	項目	特記事項																											
6章 コンクリート工事	1.* コンクリート工事	・本章の事項は構造特記仕様書による 2. コンクリートの種類及び品質 コンクリートの種類： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 気乾単位容積質量による種類： ・軽量コンクリート（下表による） ・図示																											
	(2.1) コンクリートの種類	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm2)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ルーフバルコニー防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋上防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・浴室防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの要求性能等による種類： ・図示 ・ コンクリートの種類： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類</p>	施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備考	・ルーフバルコニー防水押え	・18 ・21		・屋上防水押え	・18 ・21		・浴室防水押え	・18 ・21																
	施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備考																										
	・ルーフバルコニー防水押え	・18 ・21																											
	・屋上防水押え	・18 ・21																											
	・浴室防水押え	・18 ・21																											
	2.1 コンクリートの種類	特殊な要求性能のコンクリートの適用： ・図示 ・ 大臣認定を受けたコンクリートの適用： ・図示 ・ 気乾単位容積質量による種類： ○普通コンクリート（下表による） ・図示																											
	(2.2) コンクリートの強度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm2)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○構造躯体（構造物基礎）</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（階～階）</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（階～階）</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○捨てコンクリート</td> <td>○18 ・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの要求性能等による種類： ・図示 ・ スランプ： ※表6.2.2による ○図示 ・ 打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・化粧打放し部</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○打放し補修下地部</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○基礎部</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの仕上りの平坦さ： ○a種 ・b種 ・c種</p>	施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備考	○構造躯体（構造物基礎）	21		・構造躯体（階～階）	24		・構造躯体（階～階）	21		○捨てコンクリート	○18 ・21		施工部位	種別	備考	・化粧打放し部	A種		○打放し補修下地部	B種		○基礎部	C種	
	施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備考																										
	○構造躯体（構造物基礎）	21																											
・構造躯体（階～階）	24																												
・構造躯体（階～階）	21																												
○捨てコンクリート	○18 ・21																												
施工部位	種別	備考																											
・化粧打放し部	A種																												
○打放し補修下地部	B種																												
○基礎部	C種																												
(2.4) 珪酸リチウム及びスラング																													
(2.5) 構造体コンクリートの仕上げ																													
(3.1) コンクリートの材料	<p>3. コンクリートの材料及び調査</p> <p>セメントの種類： ※普通ポルトランドセメントA種 ※混合セメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 高炉セメントB種の適用箇所： ・図示 ・基礎 ・地中梁 ・ フライアッシュセメントB種の適用箇所： ・図示 ・ 骨材の種類： ※JIS A 5308(付属書A)の骨材 ・規定外の骨材： 細骨材の種類： ※JIS A 5308(付属書A)の細骨材 ・規定外の細骨材： 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B 混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・ 混和材料の使用法等： ・図示 ※製造所資料に基づき承諾 コンクリートの構造体強度補正值(S)： ※表6.3.2による ・図示 ・</p>																												
(3.2) コンクリートの調査																													
(6.4) 打継ぎ	<p>6. コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び締固め</p> <p>打継ぎの位置： ※梁、スラブ、スパンの中央(1/4) ※柱、壁、梁、基礎の上端 ・図示 打継ぎ目地の見付寸法： ・図示 ・25mm ○20mm ・15mm ・</p>																												
7.2 湿潤養生	<p>7. 養生</p> <p>普通エコセメントの養生期間： ・5日 ・7日 ・</p>																												
(8.1) 型枠一般	<p>8. 型枠</p> <p>外部に面する打放し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法： ・下表による ・図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>位置</th> <th>形状</th> <th>寸法(見付x深さ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・片持ちスラブ</td> <td>・図示</td> <td>・両転び ・片転び</td> <td>20mmx15mm</td> </tr> <tr> <td>・外部開口部廻り</td> <td>・図示</td> <td>・両転び ・片転び</td> <td>15mmx12mm</td> </tr> <tr> <td>・壁タイル張り仕上面</td> <td>・図示</td> <td>・両転び ・片転び</td> <td>15mmx10mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>スリーブの材種等等： ・鋼管 ・VP管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付き鋼管 型枠の材料等： ・下表による ・図示 ○請負者の工事書類に基づき承諾</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別・厚さ</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・合板</td> <td>※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm</td> <td>※複合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm</td> <td>※南洋材</td> </tr> <tr> <td>・床型枠用鋼製デッキプレート</td> <td></td> <td>・針葉材</td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・ 断熱材を兼用した型枠材： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ MCR工法： ・適用する【適用箇所： ・図示 ・ スリーブ： ・硬質塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼管 ・鋼管 ・つば付き鋼管 ・鋼管 ・紙フェルト</p>	施工部位	位置	形状	寸法(見付x深さ)	・片持ちスラブ	・図示	・両転び ・片転び	20mmx15mm	・外部開口部廻り	・図示	・両転び ・片転び	15mmx12mm	・壁タイル張り仕上面	・図示	・両転び ・片転び	15mmx10mm	種類	種別・厚さ	材質	・合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合		・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材	・床型枠用鋼製デッキプレート		・針葉材
施工部位	位置	形状	寸法(見付x深さ)																										
・片持ちスラブ	・図示	・両転び ・片転び	20mmx15mm																										
・外部開口部廻り	・図示	・両転び ・片転び	15mmx12mm																										
・壁タイル張り仕上面	・図示	・両転び ・片転び	15mmx10mm																										
種類	種別・厚さ	材質																											
・合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合																											
	・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材																											
・床型枠用鋼製デッキプレート		・針葉材																											
(8.2) 材料																													
10.1 一般事項	<p>10. 軽量コンクリート</p> <p>土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ルーフバルコニー防水押え</td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋上防水押え</td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・浴室防水押え</td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>所要スランプ： ※21cm以下 ・18cm以下 ・図示 ・</p>	施工部位	種類	備考	・ルーフバルコニー防水押え	・1種 ・2種		・屋上防水押え	・1種 ・2種		・浴室防水押え	・1種 ・2種																	
施工部位	種類	備考																											
・ルーフバルコニー防水押え	・1種 ・2種																												
・屋上防水押え	・1種 ・2種																												
・浴室防水押え	・1種 ・2種																												

章	項目	特記事項																																																																																			
15章 左官工事	2.4 ラス系下地	<p>2. 下地</p> <p>通気工法ラス系下地の種類： ・二層下地 ・単層下地 ・図示 直張り工法ラス系下地の種類： ・スチール下地 ・ラスシート下地 ・図示 ラス下地板の指定： ・耐力壁仕様 ・防火構造 ・準耐火構造 ・図示 換気口部の措置： ※「公共建築木造工事標準仕様書/11.4.3施工」による ・図示 ラスシート下地の指定： ・耐力壁 ・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・GB-R</td> <td>12.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・GB-F</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木毛セメント板</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>18</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>こまい下地の指定： ・耐力壁 ・図示 木ずり用小幅板の樹種： ※杉(芯去り材) ・桧(芯去り材) ・</p>	種類	厚さ(mm)	施工箇所	・GB-R	12.5		・GB-F	15		・木毛セメント板	20		・硬質木片セメント板	18																																																																					
	種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																		
	・GB-R	12.5																																																																																			
	・GB-F	15																																																																																			
	・木毛セメント板	20																																																																																			
	・硬質木片セメント板	18																																																																																			
	2.5 せつこうボード	その他のボード下地																																																																																			
	2.6 こまい下地																																																																																				
	2.7 木ずり下地																																																																																				
	(3.2) 材料	<p>3. モルタル塗り</p> <p>モルタル： ・現場調合材料 ○既調合材料 既製目地： ・適用 ・不適用 既製目地の形状寸法等： ・図示 ・ 床の目地： ○設ける ・設けない 工法： ※押し目地 ・切り目地 ・ 外壁タイル下地モルタルの接着力試験： ・行う ・行わない</p>																																																																																			
(3.5) 工法																																																																																					
6.2 材料	<p>6. 仕上塗材仕上げ</p> <p>○薄付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ・無 ・有（</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類（呼び名）</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>吹付け ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>吹付け ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状 ・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>吹付け こて塗り ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状 ・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>吹付け こて塗り ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状・さざ波状 ・凹凸状</td> <td>ロー塗り 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材C</td> <td>・凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材L</td> <td>・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>こて塗り ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状じゅらく・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材E</td> <td>・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>こて塗り ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材W</td> <td>・京壁状じゅらく・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材W(調湿形)</td> <td>・平たん状・凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> </tbody> </table> <p>○厚付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ・無 ・有（</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類（呼び名）</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>吹付け こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材C</td> <td>・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>吹付け こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材L</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材G</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り ロー塗り</td> </tr> </tbody> </table> <p>○複層仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ・無 ・有（不燃認定品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類（呼び名）</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複層塗材CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ロー塗り</td> </tr> </tbody> </table>	種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	・外装薄塗材Si	・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け ロー塗り	・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け ロー塗り	・外装薄塗材E	・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状 ・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け こて塗り ロー塗り	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状・ゆず肌状 ・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け こて塗り ロー塗り	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状・さざ波状 ・凹凸状	ロー塗り 吹付け	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け	・内装薄塗材C	・凹凸状	吹付け	・内装薄塗材L	・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	こて塗り ロー塗り	・内装薄塗材Si	・砂壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け	・内装薄塗材E	・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	こて塗り ロー塗り	・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け	・内装薄塗材W(調湿形)	・平たん状・凹凸状	こて塗り	種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	・外装厚塗材C	・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	吹付け こて塗り	・外装厚塗材Si	・吹放し・凸部処理	吹付け	・外装厚塗材E	・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り ロー塗り	・内装厚塗材C	・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	吹付け こて塗り	・内装厚塗材L	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材G	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材Si	・吹放し・凸部処理	吹付け	・内装厚塗材E	・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り ロー塗り	種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	・複層塗材CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・複層塗材Si	・ゆず肌状	ロー塗り	・複層塗材E			・複層塗材RE	・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状	吹付け ロー塗り	・可とう形複層塗材CE	・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状	吹付け ロー塗り
種類（呼び名）	仕上げの形状	工法																																																																																			
・外装薄塗材Si	・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け ロー塗り																																																																																			
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け ロー塗り																																																																																			
・外装薄塗材E	・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状 ・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け こて塗り ロー塗り																																																																																			
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状・ゆず肌状 ・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け こて塗り ロー塗り																																																																																			
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状・さざ波状 ・凹凸状	ロー塗り 吹付け																																																																																			
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け																																																																																			
・内装薄塗材C	・凹凸状	吹付け																																																																																			
・内装薄塗材L	・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	こて塗り ロー塗り																																																																																			
・内装薄塗材Si	・砂壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け																																																																																			
・内装薄塗材E	・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	こて塗り ロー塗り																																																																																			
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け																																																																																			
・内装薄塗材W(調湿形)	・平たん状・凹凸状	こて塗り																																																																																			
種類（呼び名）	仕上げの形状	工法																																																																																			
・外装厚塗材C	・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	吹付け こて塗り																																																																																			
・外装厚塗材Si	・吹放し・凸部処理	吹付け																																																																																			
・外装厚塗材E	・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り ロー塗り																																																																																			
・内装厚塗材C	・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	吹付け こて塗り																																																																																			
・内装厚塗材L	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り																																																																																			
・内装厚塗材G	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り																																																																																			
・内装厚塗材Si	・吹放し・凸部処理	吹付け																																																																																			
・内装厚塗材E	・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り ロー塗り																																																																																			
種類（呼び名）	仕上げの形状	工法																																																																																			
・複層塗材CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																																																																																			
・複層塗材Si	・ゆず肌状	ロー塗り																																																																																			
・複層塗材E																																																																																					
・複層塗材RE	・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状	吹付け ロー塗り																																																																																			
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状	吹付け ロー塗り																																																																																			

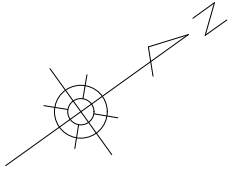
章	項目	特記事項																		
15章 左官工事	7.2 材料	<p>・複層塗材RS</p> <table border="1"> <tr> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> </table> <p>・防水形複層塗材CE</p> <table border="1"> <tr> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> </table> <p>・防水形複層塗材E</p> <table border="1"> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> </table> <p>・防水形複層塗材RS</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・防水形複層塗材RE</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐候性： ・耐候形3種 ・ 上塗材溶媒： ・溶剤系 ・弱溶剤系 ・水系 ・ 上塗材樹脂： ・アクリル系 ・シリカ系 ・ポリアリル系 ・アクリリコン系 ・ふっ素系 上塗材外観： ・つやあり ・つやなし ・メツク 防水形の増塗材の適用： ・する ・しない</p> <p>7. マスチック塗材塗り</p> <p>種別： ・A種 ・B種</p> <p>10. しっくい塗り</p> <p>しっくいの下地： ※標準仕様書15.10.1による ・図示 しっくい： ・現場調合材料 ・既調合材料(種類等： ) 既調合しっくいの各層の塗厚： ※表15.10.1及び表15.10.2による ・図示 現場調合しっくいの各層の塗厚： ※表15.10.3及び表15.10.4による ・図示 既調合しっくいの上塗り仕上げ： ・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ</p>	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状	ロー塗り	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状	ロー塗り										
	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																		
	・ゆず肌状	ロー塗り																		
	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																		
	・ゆず肌状	ロー塗り																		
	7.2 材料																			
	10.1 一般事項																			
	10.2 材料																			
10.3 調査及び塗厚																				
10.4 工法																				
18章 塗装工事	1.3 材料	<p>1. 共通事項</p> <p>塗料の防火材料の指定： ・図示 ・無 ・有（</p> <p>2. 素地ごしらえ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装面の種類</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部（不透明塗料塗り部）</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>木部（透明系塗料塗り部）</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・A種 ※B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスター面</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALCパネル面</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうその他のボード</td> <td>継目処理工法の場合： ※A種 ・B種 その他の場合： ・A種 ※B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 錆止め塗料塗り</p> <p>鉄鋼面(上塗りEP-Gの場合)： ・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面(上塗りSOPの場合)： ※A種 ・B種 鉄鋼面見え掛り部分(上塗りSOP、及びEP-Gの場合)： ※A種 ・B種 鉄鋼面見え隠れ部分(上塗りSOP、及びEP-Gの場合)： ・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面鋼製建具面(上塗りSOP、及びEP-Gの場合)： ※A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面鋼製建具面以外(上塗りSOP、及びEP-Gの場合)： ・A種 ※B種</p> <p>4. 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</p> <p>種別(外部)： ※A種 ・B種 種別(内部：多孔質広葉樹以外)： ・A種 ※B種 種別(内部：多孔質広葉樹)： ・A種 ・B種</p> <p>種別： ・A種 ※B種</p> <p>5. クリヤラッカー塗り(CL)</p> <p>種別： ・A種 ※B種</p> <p>6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</p> <p>種別： ・A種 ※B種</p> <p>7. 耐候性塗料塗り(DP)</p> <p>上塗り塗料の等級： ・1級 ・2級 ・3級 上塗り塗料の等級： ・1級 ・2級 ・3級</p> <p>種別： ・A種 ○B種 ・C種</p> <p>(7.4) コンクリート面***塗り</p>	塗装面の種類	種別	木部（不透明塗料塗り部）	※A種 ・B種	木部（透明系塗料塗り部）	・A種 ※B種	鉄鋼面	・A種 ※B種 ※C種	亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種	モルタル、プラスター面	・A種 ※B種	コンクリート、ALCパネル面	・A種 ※B種	押出成形セメント板	・A種 ※B種	せつこうその他のボード	継目処理工法の場合： ※A種 ・B種 その他の場合： ・A種 ※B種
	塗装面の種類	種別																		
	木部（不透明塗料塗り部）	※A種 ・B種																		
	木部（透明系塗料塗り部）	・A種 ※B種																		
	鉄鋼面	・A種 ※B種 ※C種																		
	亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種																		
	モルタル、プラスター面	・A種 ※B種																		
	コンクリート、ALCパネル面	・A種 ※B種																		
	押出成形セメント板	・A種 ※B種																		
	せつこうその他のボード	継目処理工法の場合： ※A種 ・B種 その他の場合： ・A種 ※B種																		
2.1~2.7 ***素地ごしらえ																				
3.2 塗料種別																				
3.3 錆止め塗料塗り																				
4.2 木部***塗り																				
4.3 鉄鋼面***塗り																				
5.2 クリヤラッカー塗り																				
6.2 アクリル***塗り																				
7.2 鉄鋼面***塗り																				
7.3 亜鉛めっき***塗り																				
(7.4) コンクリート面***塗り																				
8.2 コンクリート面***塗り																				

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	特記仕様書(2)		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1：200	図面番号	A-02
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		

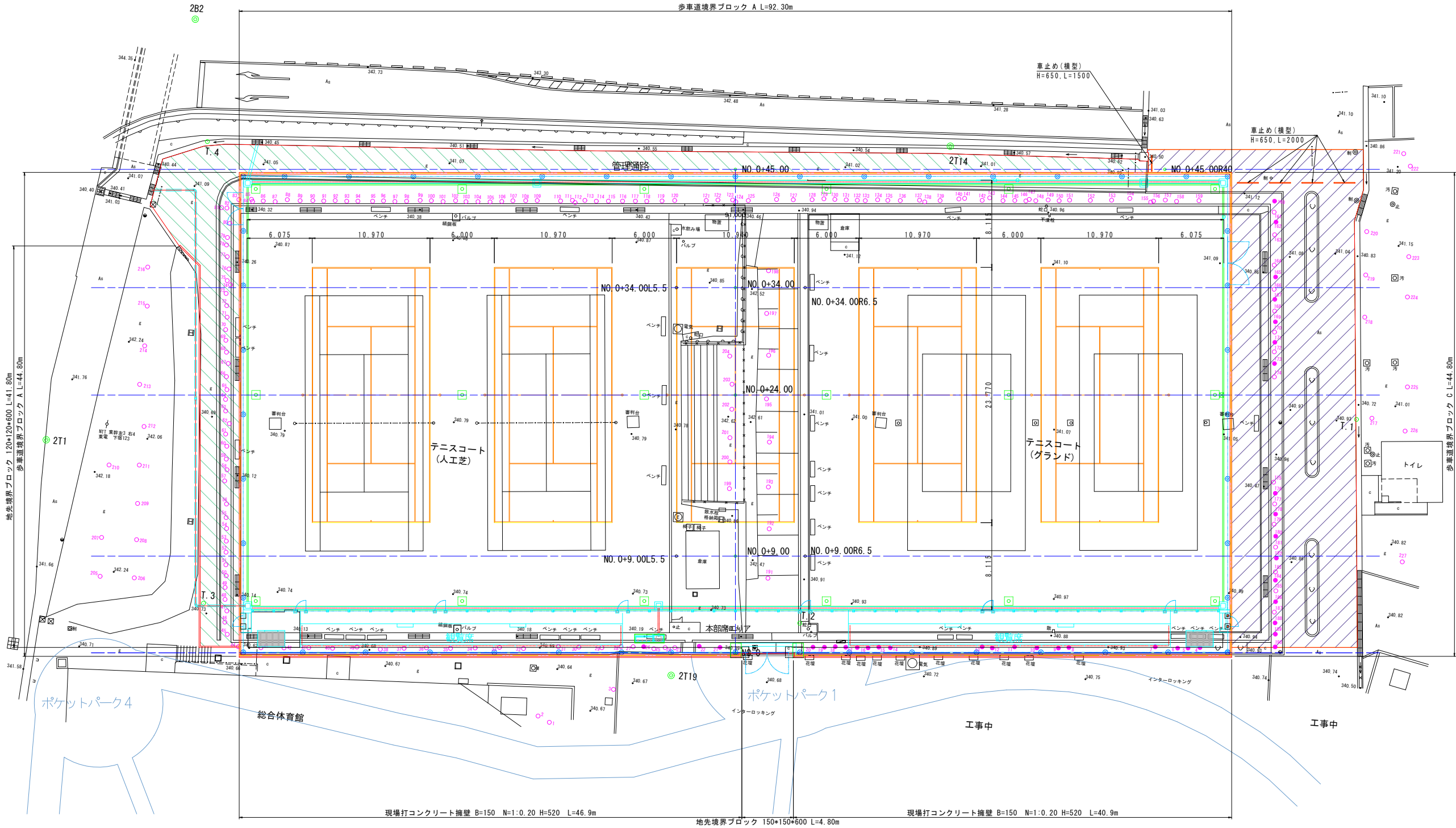
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
21章 排水工事	(2.1) 材料	<p>2. 屋外雨水排水</p> <p>排水管材種： ・ 遮心力鉄筋コンクリート管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 【○VP ○VU】  ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル3層管 (RS-VU)  ・ 排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 (DV)  ・ 屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手 (VU継手) ・ 図示</p> <p>管径： ○ 図示 ・</p> <p>側溝（形状・寸法）： ○ 図示 ・</p> <p>側塊（形状・寸法）： ○ 図示 ・</p> <p>排水樹（形状・寸法）： ○ 図示 ・ 現場打ち角型；600x600 ・ コンクリート既製樹；300x300 ・</p> <p>現場打ちコンクリートの種類： ※普通コンクリート (Fc=18N/mm2、スラブ：15cm・18cm) ・ 図示</p> <p>現場打ち鉄筋の種類： ※SD295A ○ 図示</p> <p>◎樹蓋</p> <p>材質： ○ 図示 ・ 鑄鉄製「レーチング」 ・ 鋼製「レーチング」 ・ ステンレス製「レーチング」  ・ コンクリート製 ・ 鑄鉄製 ・</p> <p>種別： ○ 図示 ・ マンホール蓋 ・ 床化粧マンホール蓋 ・ 格子蓋 ・</p> <p>種類： ○ 図示 ・ 水封型 ・ 簡易密閉型 ・ 密閉型 ・</p> <p>適用荷重： ○ 図示 ・ 歩行用 ・ T-2 ・ T-6 ・ T-14 ・ T-20 ・ T-25</p> <p>メインバーピッチ等： ○ 図示 ・ 普通目 ・ 細目／ブレン ・ 細目／ノスリッパ</p> <p>◎側溝グレーチング</p> <p>材質： ・ 図示 ・ 鋼製 ・ ステンレス製 ・</p> <p>適用荷重： ・ 図示 ・ 歩行用 ・ T-2 ・ T-6 ・ T-14 ・ T-20 ・ T-25</p> <p>メインバーピッチ等： ・ 図示 ・ 普通目 ・ 細目／ブレン ・ 細目／ノスリッパ</p> <p>地業の材料： ・ 砂利地業【 ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砕石 ・ 切込砂利 】</p> <p>地業の材料： ・ 砂地業【 ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 】</p> <p>砂のふるい分け試験： ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>埋戻し材料： ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>盛土地盤等の施工法： ・ 図示 ・</p> <p>継手の工法： ・ 図示 ・</p> <p>◎遮心力鉄筋コンクリート管</p> <p>基床の厚さ： ・ 図示 ・</p> <p>基床の種類： ・ 図示 ・</p> <p>◎硬質ポリ塩化ビニル管</p> <p>基床の厚さ： ○ 図示 ・</p> <p>基床の種類： ○ 図示 ・</p> <p>継手の種類： ※接着材 ・ ゴム輪 ・</p> <p>排水樹の足掛け金物： ・ φ22ステンレス製 ・ φ22防錆処理鋼製 ・ φ19合成樹脂被覆鋼製</p>	22章 舗装工事	(2.2) 路床の構成及び仕上り	<p>2. 路床</p> <p>凍上抑制層の適用： ○ 適用しない ・ 適用する</p> <p>厚さ： ・ 車道部 mm ・ 歩道部 mm</p> <p>透水性舗装のフィルター層の適用： ・ 適用しない ○ 適用する</p> <p>厚さ： ○ 車道部 100mm ・ 歩道部 mm</p> <p>路床安定処理の適用： ○ 適用しない ・ 適用する</p> <p>方法： ・ 添加材による処理 ・ 図示 ・</p> <p>盛土の材料： ※表3.2.11による（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ） ・ 図示</p> <p>路床安定処理用添加材料： ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメント  ・ 生石灰【 ・ 特号 ・ 1号 】 ・ 消石灰【 ・ 特号 ・ 1号 】</p> <p>透水性舗装のフィルター： ○ 図示 ・</p> <p>路床土のCBR試験： ・ 行わない ○ 行う 【○ 乱した土 ・ 乱さない土】</p> <p>路床締固め試験： ○ 行う ・ 行わない</p> <p>現場CBR試験： ・ 行わない ○ 行う</p>	23章 植栽及び屋根緑化工事	2.2 植栽基盤一般	<p>2. 植栽基盤</p> <p>有効土層として整備する面積／厚さ： ※表23.2.11による ・ 図示</p> <p>基盤浸透水排水施設の設置： ・ 設置する ・ 設置しない</p> <p>排水施設： ・ 図示 ・ 暗渠 ・ 開渠 ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・</p> <p>植栽基盤整備工法（樹木）： ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>植栽基盤整備工法（芝、地被類）： ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>土壌改良の適用： ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>植込み用土： ・ 現場発生の良質土 ・ 客土</p> <p>土壌改良材： ・ パーク堆肥 ・ 発酵下水汚泥コンポスト ・  ・ パーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： ・ 適用しない ・ 適用する；</p> <p>3. 植樹</p> <p>樹木の樹種／寸法／株立ち数等： ・ 図示 ・</p> <p>支柱材： ※丸太【 ・ 杉 ・ 桧 ・ 松 ・ 】 ・ 竹</p> <p>支柱材の防腐処理方法： ※加圧式防腐処理 ・ 焼き丸太処理 ・</p> <p>幹巻き用材料： ※幹巻き用テープ ・ わら及びこも</p> <p>支柱の工法： ・ 図示 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ 八掛形 ・</p> <p>補償期間： ※引渡しの日から1年 ・</p>
		(2.3) 材料			(2.5) 試験			(2.3) 材料
(2.2) 施工	(3.1) 材料	<p>◎路盤の厚さ及び仕上り</p> <p>◎材料</p> <p>◎舗装の構成及び仕上り</p> <p>(4.3) 材料</p> <p>(4.4) 配合その他</p> <p>(4.6) 試験</p> <p>6.2 舗装の構成及び仕上り</p>	<p>3. 路盤</p> <p>歩道部の路盤の厚さ： ・ 図示 ・</p> <p>車道部の路盤の厚さ： ○ 図示 ・</p> <p>路盤の材料： ○ 砕石【 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 】 ○ 再生材 【○クラッシュラン ・ 粒度調整砕石】  ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・</p> <p>4. アスファルト舗装</p> <p>舗装の構成及び厚さ： ○ 図示 ・</p> <p>車道部の基層の適用： ○ 適用しない ・ 適用する</p> <p>舗装の平坦性： ※通行の支障となる水たまりがない程度 ・ 水の滞留がない平滑性</p> <p>再生アスファルトの種類： ○ 60～80 ・ 80～100</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類：</p> <p>表層： ○ 密粒度アスファルト混合物 ・ 細粒度アスファルト混合物</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験： ○ 行う ・ 行わない</p> <p>6. カラー舗装</p> <p>◎車道部</p> <p>カラー舗装の種類： ・ 加熱系【 ・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物 】 ・ 図示  ・ 常温系【 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 】 ・ 図示</p> <p>常温系カラー舗装の下部： ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装</p> <p>結合材による種類： ・ 図示 ・</p> <p>車道部の基層の適用： ・ 適用しない ・ 適用する</p> <p>◎歩道部</p> <p>カラー舗装の種類： ・ 加熱系【 ・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物 】 ・ 図示  ・ 常温系【 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 】 ・ 図示</p> <p>常温系カラー舗装の下部： ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装</p> <p>結合材による種類： ・ 図示 ・</p> <p>車道部の基層の適用： ・ 適用しない ・ 適用する</p> <p>添加骨材： ・ 着色骨材； ・ 自然石；</p> <p>石油樹脂系顔料の添加量： ・ 製造所仕様による ・ 図示 ・</p> <p>ニート工法の配合： ・ 製造所仕様による ・ 図示 ・</p> <p>塗布工法の配合： ・ 製造所仕様による ・ 図示 ・</p> <p>7. 透水性アスファルト舗装</p> <p>舗装の厚さ： ○ 車道部【 ・ 50mm ○ 40mm 】 ・ 歩道部【 ・ 30mm ・ 】</p> <p>舗装の平坦性： ※著しい不陸がない程度 ・ 水の滞留がない平滑性</p> <p>アスファルトの種類（車道部）： ・ 図示 ※ホリマ改質アスファルトⅠ型 ・ ホリマ改質アスファルトⅡ型 ・</p> <p>アスファルトの種類（歩道部）： ・ 図示 ※ストレーアスファルト</p> <p>8. ブロック系舗装</p> <p>コンクリート平板舗装の目地材： ※砂 ・ モルタル</p> <p>舗石舗装の基層及び厚さ： ・ コンクリート版【厚さ： ※70mm ・ 図示 ・ 】  ・ アスファルト混合物【厚さ： ※50mm ・ 図示 ・ 】</p> <p>舗石舗装のクッション材： ※砂 ・ 空練モルタル ・ 図示</p> <p>舗装仕上り面の平坦性： ・ 図示 ※3mm ・ 1.5mm</p> <p>コンクリート平板舗装の種類／寸法： ※N300 ・</p> <p>舗石の種類／寸法： ※2等品 ・</p> <p>9. 砂利敷き</p> <p>種別（通路）： ※A種 ・ B種</p> <p>種別（建物周囲）： ・ A種 ※B種</p>	<p>4.2 材料</p> <p>4.3 芝張りの工法</p> <p>4.7 芝張り***の枯補償</p> <p>4.2 材料</p> <p>4.3 芝張りの工法</p> <p>4.7 芝張り***の枯補償</p>	<p>4.2 材料</p> <p>4.3 芝張りの工法</p> <p>4.7 芝張り***の枯補償</p> <p>4.2 材料</p> <p>4.3 芝張りの工法</p> <p>4.7 芝張り***の枯補償</p>			
		(3.2) 材料	(3.2) 材料	(3.2) 材料	(3.2) 材料			
(3.1) 材料	(3.1) 材料	<p>3. 街きよ、縁石及び側溝</p> <p>縁石の形状・寸法： ○ 図示 ・</p> <p>L形側溝の形状・寸法： ・ 図示 ・</p> <p>U形側溝の形状・寸法： ○ 図示 ・</p> <p>U形側溝の蓋の形状・寸法： ○ 図示 ・</p> <p>コンクリートの種別： ※無筋コンクリート ○ 図示 ・</p> <p>コンクリートの材料強度： ※18N/mm2 ・ 21N/mm2 ・ 図示 ・</p> <p>地業の材料： ○ 砂利地業 【○再生クラッシュラン ・ 切込砕石 ・ 切込砂利 】</p> <p>砂利地業の厚み： ※100mm ・ 図示 ・</p> <p>地業の材料： ・ 砂地業【 ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 】</p> <p>砂地業の厚み： ※100mm ・ 図示 ・</p>	<p>6.3 材料</p> <p>6.4 配合その他</p> <p>(7.2) 舗装の構成及び仕上り</p> <p>8.2 舗装の構成及び仕上り</p> <p>8.3 材料</p> <p>9.2 材料</p>	<p>テニスコート・付帯施設</p> <p>(1) テニスコート種別</p> <p>(2) テニスコート路盤材</p> <p>(3) テニスコート基層</p> <p>(4) テニスコート表層</p> <p>(5) テニスコート付帯設備</p> <p>(6) 困障</p>	<p>・ ハードコート ○ 砂入り人工芝コート ・ クレーコート ・ 天然芝コート</p> <p>※ 全天候型テニスコートの舗装及び人工芝等の仕様は、メーカーの責任、管理のもと施工を行うものとし、施工完了時の試験検査を実施し報告書を提出すること。  また、付帯施設を含め保守管理の要領書を提出とする。</p> <p>○ クラッシュラン（C-40）</p> <p>○ 開粒度アスコン</p> <p>○ 人工芝 芝色： ○ 緑色濃淡 ・ 青色濃淡  砂： 粒度調整特殊粒砂 + バスレルサンド  バックング： SBRラテックス  基布： ポリプロピレン平織布（環境配慮型）  太さ (dtx)： 11,000 dtx 以上  厚み (μm)： 110 μm 以上  芝パイル素材： 超耐久性ポリエチレン</p> <p>○ ネットポスト： 図示 アルミ製ポスト【別途備品】用ケーシング（アルミ製）  ※ 採用ポスト製品を予め監督員の承諾を得てケーシングを選択すること</p> <p>○ テニスネット： 図示 ポリエチレン製（黒色）【別途備品】</p> <p>○ 審判台： 図示 アルミ製 車輪付き H1850【別途備品】</p> <p>○ ベンチ： 図示 アルミ製 W1700【別途備品】</p> <p>○ 防球フェンス： 図示 鋼管柱（H5m H10m）全面金網フェンス張り  （朝日スチール工業（株） S・P防球フェンス 着色仕様 同等品）</p> <p>○ 防球フェンス門扉： 図示 スチールネットフェンス（H3m H2m）  （朝日スチール工業（株） S・P防球フェンス 着色仕様 同等品）</p> <p>○ 防風・防砂ネット： ポリエステル1mm目 防炎タイプ H2.0m（防球フェンス面へ装着）  ※防球フェンスの柱本体及び基礎強度は、防風・防砂ネットを装着した風圧強度を満たしたものとすること</p> <p>○ 観覧席フェンス： 図示 スチールメッシュフェンスH1200 テニスコート用  （朝日スチール工業（株） UNフェンス（UN-GRI200-40 グラウンドタイプ）同等品）</p>			
		(3.2) 材料	(3.2) 材料	(3.2) 材料	(3.2) 材料			

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	特記仕様書（3）		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1：200	図面番号	A-03
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		

市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託  
 蕪崎市本町四丁目9番2号 地内  
 計画平面図 縮尺=1:200(A1)



2T13



○	立木
●	切株

- アスファルト舗装 (A=555.8m<sup>2</sup>)
- 透水性舗装 (A=366.0m<sup>2</sup>)

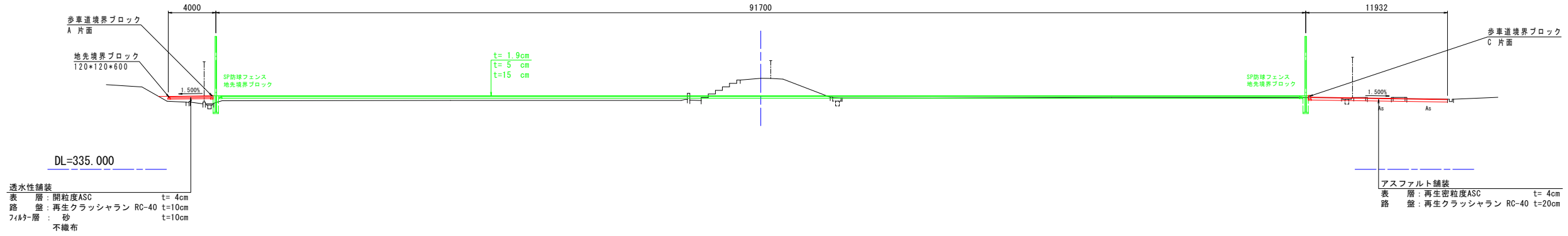
※A3判の縮尺は表示の2分の1とする。

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	計画平面図		
作成年月日	令和 8 年 2 月	日	
縮尺	1:200	図番番号	A-04
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪崎市		

NO. 0+24.00

(NO. 0+13.30~NO. 0+29.40 L=16.10m)  
 掘削: 11.0  
 路床盛土: 13.7

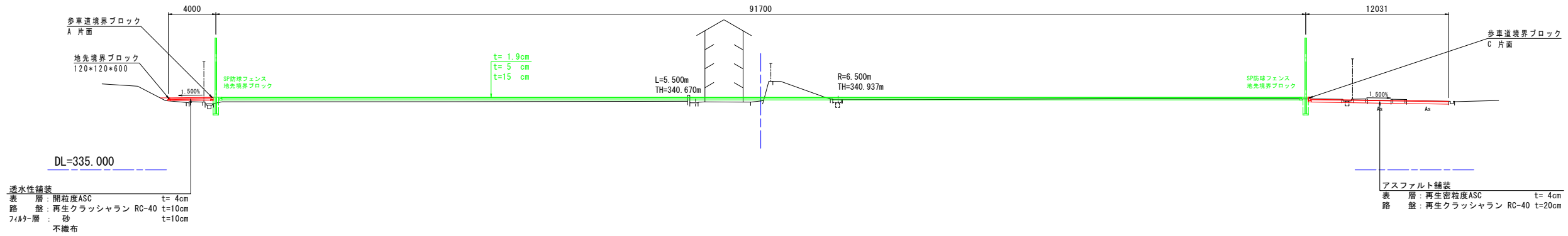
GH=342.67  
 FH=341.200



NO. 0+9.00

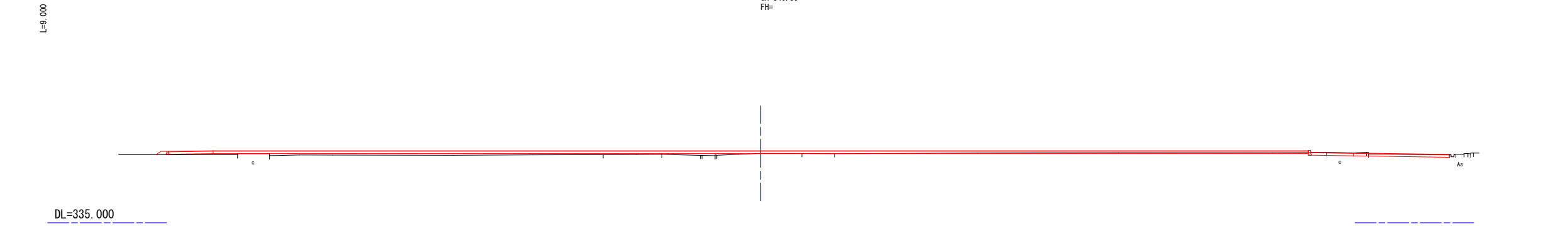
(NO. 0+4.30~NO. 0+13.30 L=9.00m)  
 掘削: 7.5  
 路床盛土: 12.9

GH=340.82  
 FH=341.125



NO. 0

GH=340.85  
 FH=

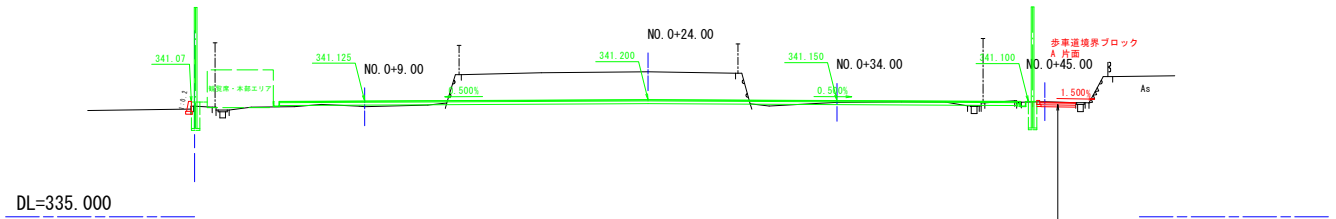


※A3判の縮尺は表示の2分の1とする。

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	横断面		
作成年月日	令和 8 年 2 月	日	
縮尺	1:200	図面番号	A-05
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		

BNO. 0

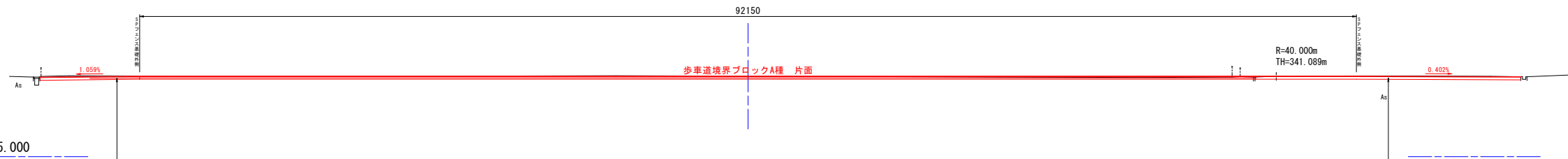
GH=340.85  
FH=



透水性舗装  
表層：開粒度ASC t=4cm  
路盤：再生クラッシュラン RC-40 t=10cm  
フィルター層：砂 t=10cm  
不織布

NO. 0+45.00

GH=341.09  
FH=



透水性舗装  
表層：開粒度ASC t=4cm  
路盤：再生クラッシュラン RC-40 t=10cm  
フィルター層：砂 t=10cm  
不織布

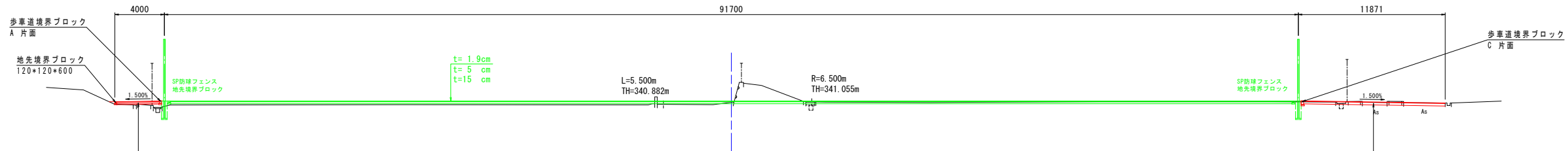
アスファルト舗装  
表層：再生密粒度ASC t=4cm  
路盤：再生クラッシュラン RC-40 t=20cm

NO. 0+34.00

GH=341.05  
FH=341.150

(NO. 0+29.40~NO. 0+44.35 L=14.95m)  
掘削：5.7  
路床盛土：8.4

L=11,000



透水性舗装  
表層：開粒度ASC t=4cm  
路盤：再生クラッシュラン RC-40 t=10cm  
フィルター層：砂 t=10cm  
不織布

アスファルト舗装  
表層：再生密粒度ASC t=4cm  
路盤：再生クラッシュラン RC-40 t=20cm

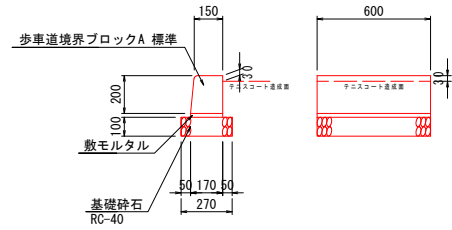
L=10,000

※A3判の縮尺は表示の2分の1とする。

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	横断面図		
作成年月日	令和 8 年 2 月	日	
縮尺	1:200	図面番号	A-06
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		

# 構造図 S=1/20 (A1)

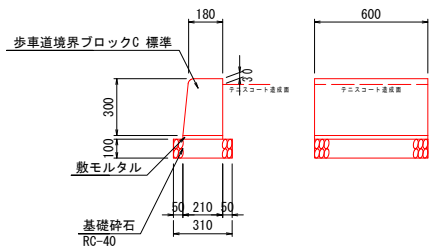
歩車道境界ブロックA 標準



材料表 10.0m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	備考
歩車道境界ブロック	A 標準	個	16.67	45kg/個
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m <sup>2</sup>	2.700	

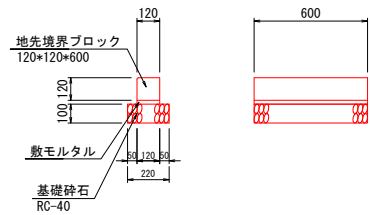
歩車道境界ブロックC 標準



材料表 10.0m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	備考
歩車道境界ブロック	C 標準	個	16.67	84kg/個
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m <sup>2</sup>	3.100	

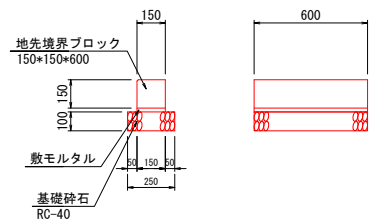
地先境界ブロック



材料表 10.0m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	備考
地先境界ブロック	120*120*600	個	16.67	21kg/個
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m <sup>2</sup>	2.200	

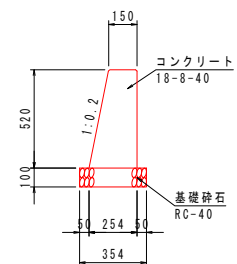
地先境界ブロック



材料表 10.0m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	備考
地先境界ブロック	150*150*600	個	16.67	26kg/個
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m <sup>2</sup>	2.500	

現場打コンクリート擁壁

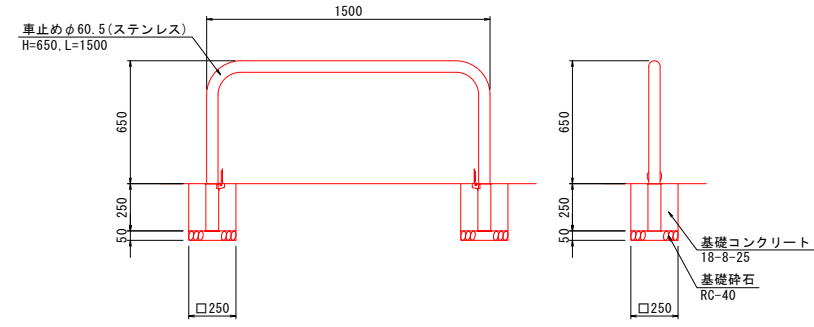


材料表 10.0m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	備考
コンクリート	18-8-40	m <sup>3</sup>	1.050	
型枠		m <sup>2</sup>	10.503	
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m <sup>2</sup>	3.540	

- ・10m間隔以下に目地材を設置すること
- ・目地材は再生質径10mmもしくはこれと同等以上の材料を使用すること
- ・天端は面取りを10mm\*10mm程度行うこと
- ・設置位置(高)はFH=341.09mを標準とし、テニスコート造成に応じて合わせる

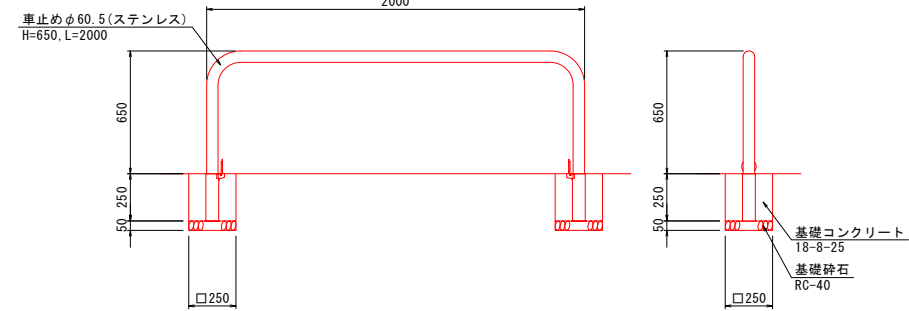
車止め H=650, W=1500



材料表 1.0箇所当り

項目	規格・寸法	単位	数量	備考
車止め(ステンレス)	φ60.5 H=650, W=1500	個	1.00	差込(フタ付)
基礎コンクリート	18-8-25	m <sup>3</sup>	0.031	
基礎型枠		m <sup>2</sup>	0.500	
基礎砕石	RC-40 t=50mm	m <sup>2</sup>	0.125	

車止め H=650, W=2000



材料表 1.0箇所当り

項目	規格・寸法	単位	数量	備考
車止め(ステンレス)	φ60.5 H=650, W=2000	個	1.00	差込(フタ付)
基礎コンクリート	18-8-25	m <sup>3</sup>	0.031	
基礎型枠		m <sup>2</sup>	0.500	
基礎砕石	RC-40 t=50mm	m <sup>2</sup>	0.125	

## 舗装構成 S=1/5 (A1)

アスファルト舗装

表層: 再生密粒度ASC t= 4 cm

路盤: 再生クラッシュラン RC-40 t= 20 cm

透水性舗装

表層: 開粒度ASC t= 4 cm

路盤: 再生クラッシュラン RC-40 t= 10 cm

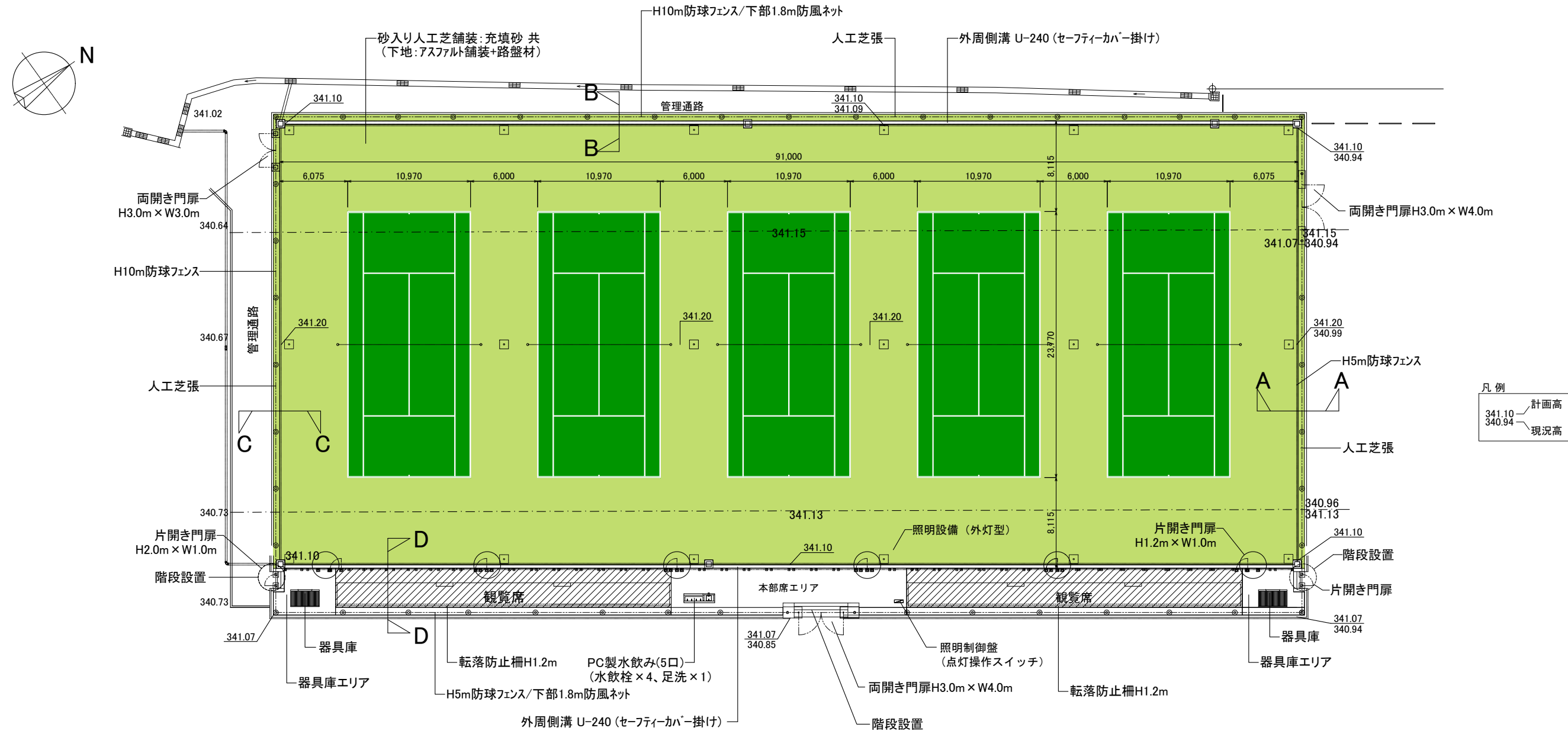
フィルター層: 砂 t= 10 cm

不織布

※A3判の縮尺は表示の2分の1とする。

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	構造図		
作成年月日	令和 8 年 2 月	日	
縮尺	1:200	図面番号	A-07
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		





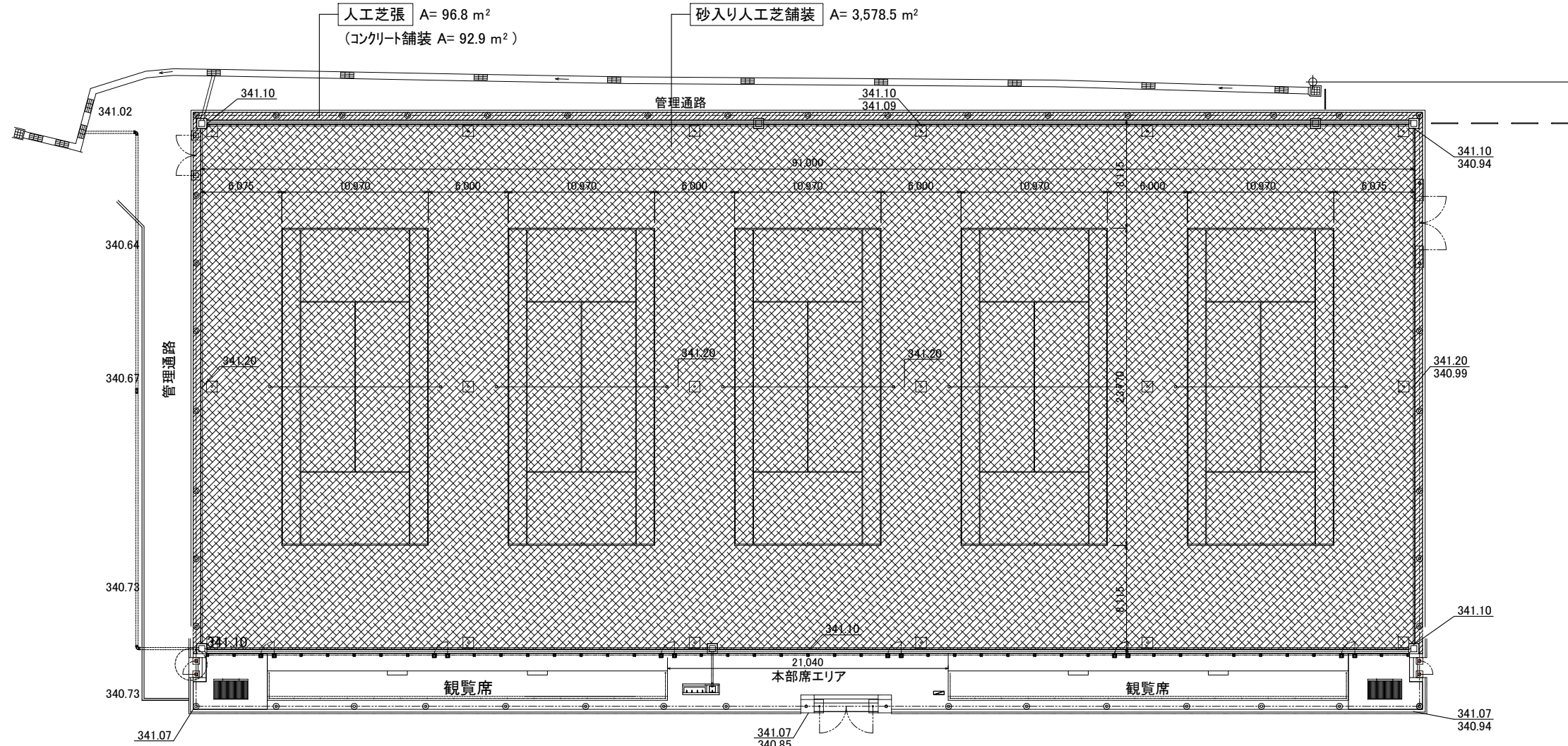
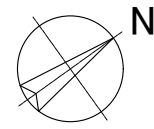
凡例  
 341.10 計画高  
 340.94 現況高

テニスコート整備工数量表

名称	仕様・摘要	単位	数量
舗装工	砂入り人工芝舗装工: 砂入り人工芝 (サンドグラス T19 EGT 同等品) 人工芝張工 (トリムターフ HG 2030NS 同等品)	式	1
排水工	排水溝工 (U-240) / 集水樹工 (□450/φ150)・排水管工 (VP-100/150)	式	1
付帯施設工	ネットポスト基礎設置工・センター金具設置工	式	1
観覧席工	観覧席工 (コンクリート段床 / 前面通路 共)	式	1
本部席・器具庫 エリア工	コンクリート舗装 (路盤材 共)・階段設置工 (コンクリート)・物置設置工 水飲み設置工 (PC製5口: 足洗×1 共)	式	1
囲障工	防球フェンス設置工 (H5m / H10m)・転落防止柵設置工 (H1.2m) 門扉設置工 (両開き・片開き)	式	1

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	計画概要図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:200	図面番号	A-09
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		

舗装区分図 S=1/200



凡例

341.10	計画高
340.94	現況高

砂入り人工芝仕様書

項目	仕様
素材	超耐久配合パイオベースポリエチレン
製法(形状)	微細網目スプリットヤーン
長(丈)	19mm (±1mm)
織度/密度	織度11,100dtex(±10%)
肉厚	110μ ±10μ
製品幅	4.04m 以上
ジョイント数	140m 以内/面(コート内)
摩耗強度	テーバー型摩耗試験による人工芝摩耗減量 150mg 以下とすること JIS L1021-11(2007)4 準拠
基布素材	ポリプロピレン製平織布(環境配慮型リサイクル基布)
バック材	SBRラテックス同等品以上
ライン	① 剥離等の弱点となるジョイント(芝同士の繋ぎ目)数を軽減する為に 主要ラインはタフト工場にて織込とする。 ② 高仕様エリアでのジョイント割れを防ぐため、サービスコート内に ライン以外のジョイントをしないこととする ※ 割付図及びジョイント数を明記して、使用材料の承認を得ることとする
ジョイントテープ	ポリエステル製・300mm 幅以上
接着剤	ウレタン系(1液)
充填目砂	特殊調整珪砂 + パステルサンド
その他	国内生産品であること

ノンサンド人工芝仕様書

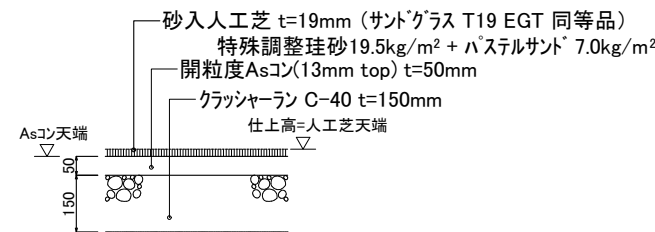
項目	仕様
素材 (a)(b)(c)	(a) b) ポリエチレン / (c) ナイロン66
芝葉製法	モノフィラメントヤーン
芝葉断面構造	扁平型
基布	ポリプロピレン
芝葉色 (a)(b)(c)	(a) グリーン(濃淡2色) (b) ベージュ (c) グリーン
芝葉肉厚 (a)(b)(c)	(a) 170ミクロン (b) 150ミクロン (c) 66ミクロン
芝葉織度 (a)(b)(c)	(a) 1,400dtex (b) 1,000dtex (c) 500dtex 総織度 10,100dtex
芝葉丈 (a)(b)(c)	(a) (b) 30mm (平均) / (c) 約 20mm
バック材	ポリウレタン
製造	国内工場製品

数量表

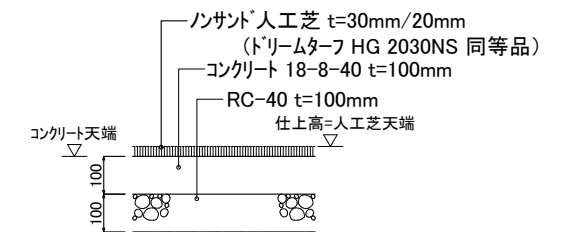
名称	仕様・摘要	単位	数量
舗装工	砂入り人工芝舗装工 (サンドグラス T19 EGT 同等品)	充填砂 共	m <sup>2</sup> 3,578.5
	人工芝張工 (ドリームターフ HG 2030NS 同等品)		m <sup>2</sup> 96.8
	コンクリート舗装工 (コンクリート 18-8-40 t=100mm)	路盤材 RC-40 t=100mm 共	m <sup>2</sup> 92.9

舗装断面図 S=1/10

〈砂入り人工芝舗装〉

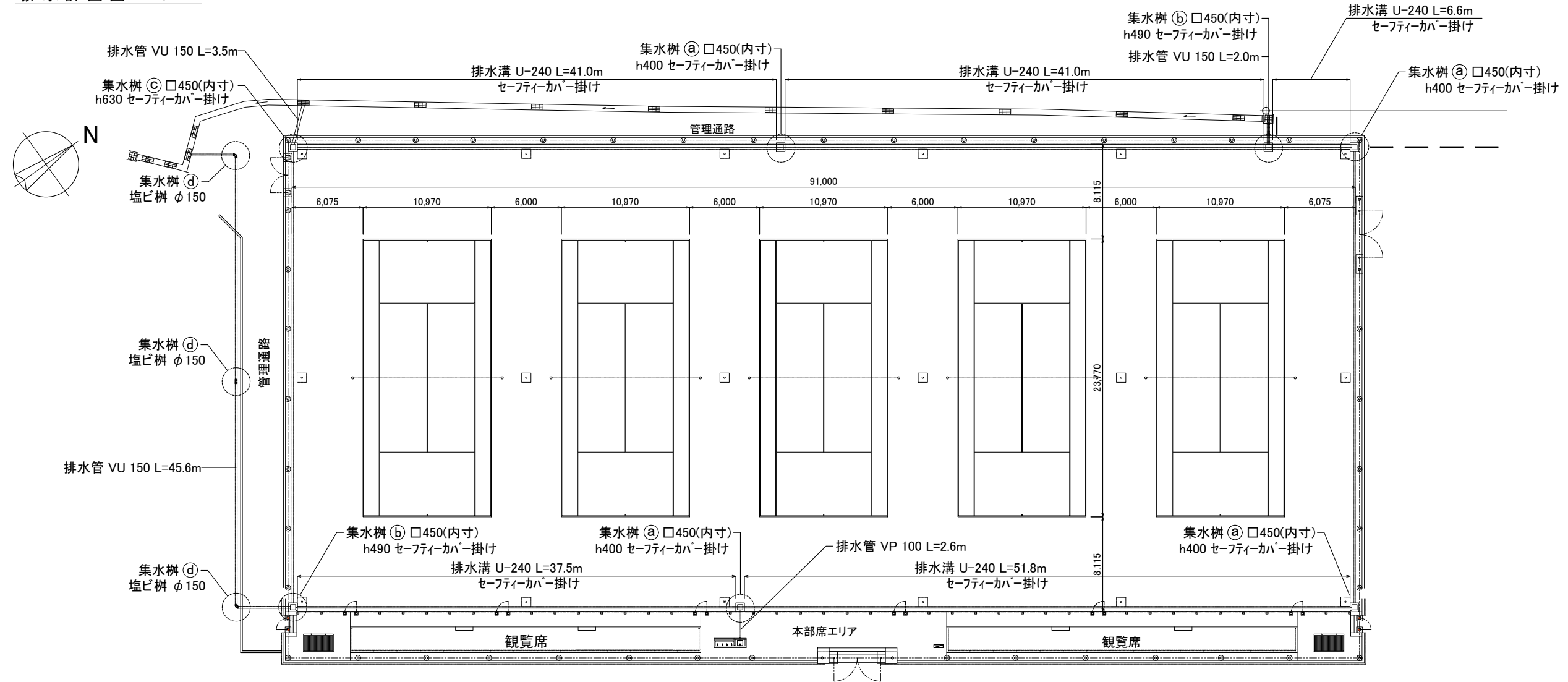


〈人工芝張:ノンサンド人工芝〉



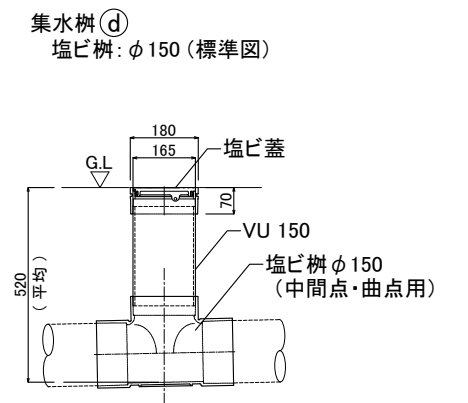
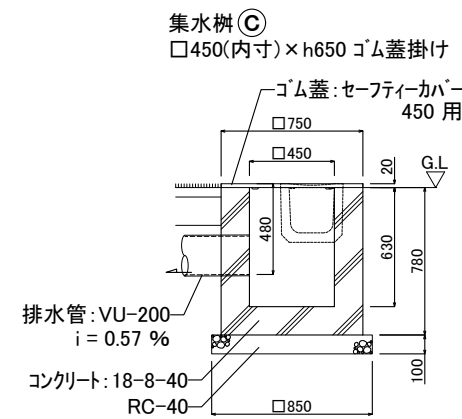
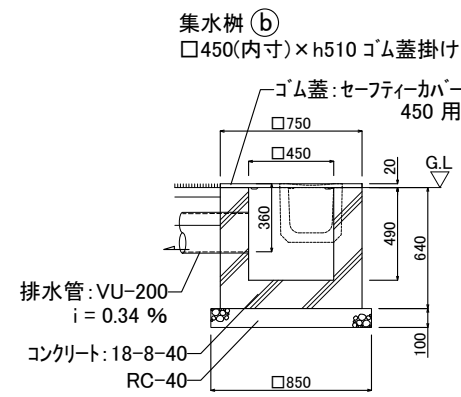
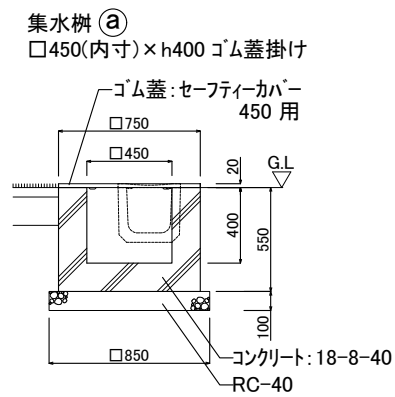
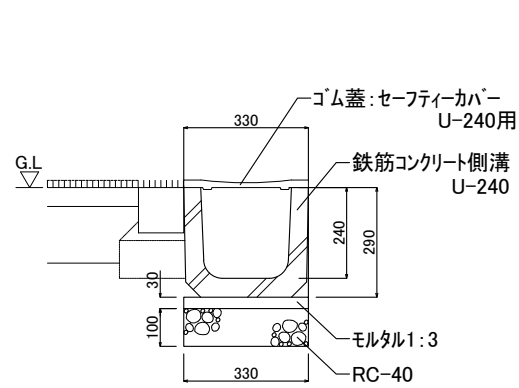
工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	舗装区分図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:200	図面番号	A-10
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		

排水計画図 S=1/200

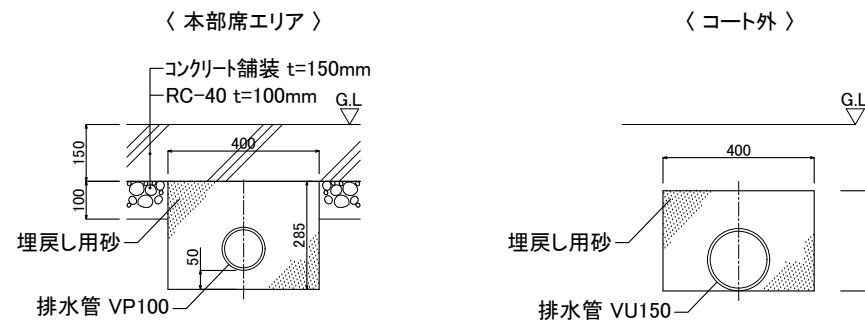


排水溝詳細図 S=1/10

排水溝詳細図 S=1/20



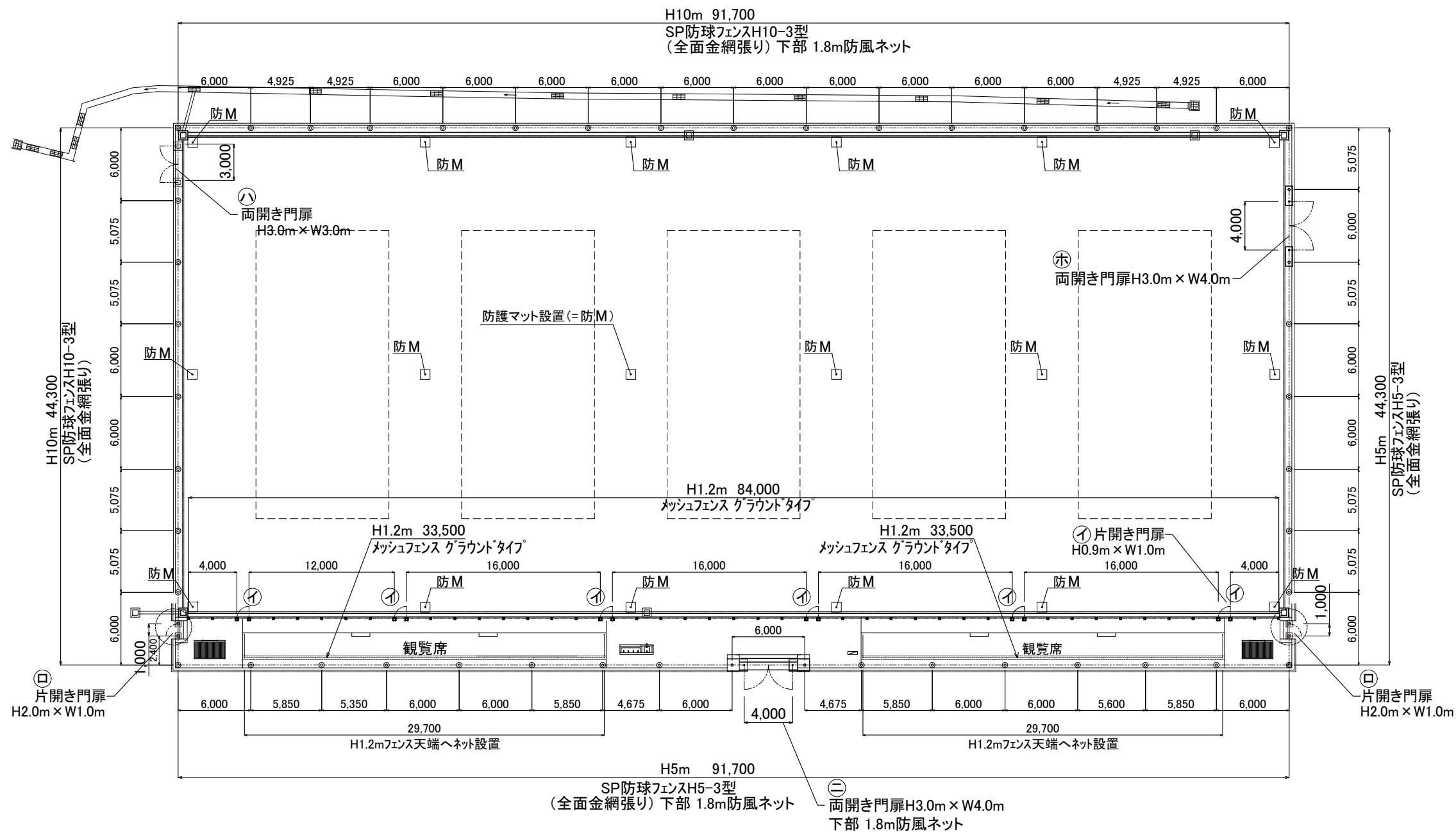
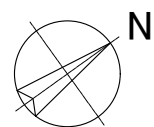
排水管詳細図 S=1/10



数量表

名称	仕様・摘要	単位	数量
排水工	排水溝工: U-240 ゴム蓋(セフティーカバー)掛け	m	177.9
	集水樹工: ① □450(内寸) × h400 ゴム蓋(セフティーカバー)掛け	箇所	4
	〃 ② □450(内寸) × h510 ゴム蓋(セフティーカバー)掛け	箇所	2
	〃 ③ □450(内寸) × h650 ゴム蓋(セフティーカバー)掛け	箇所	1
	排水管: VP-100 (手足洗い場排水)	m	2.6
	排水管: VU-150 (コート外)	m	51.1
集水樹工: ④ 塩ビ樹 φ150 (コート外)	箇所	3	

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	排水計画図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:200	図面番号	A-11
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		



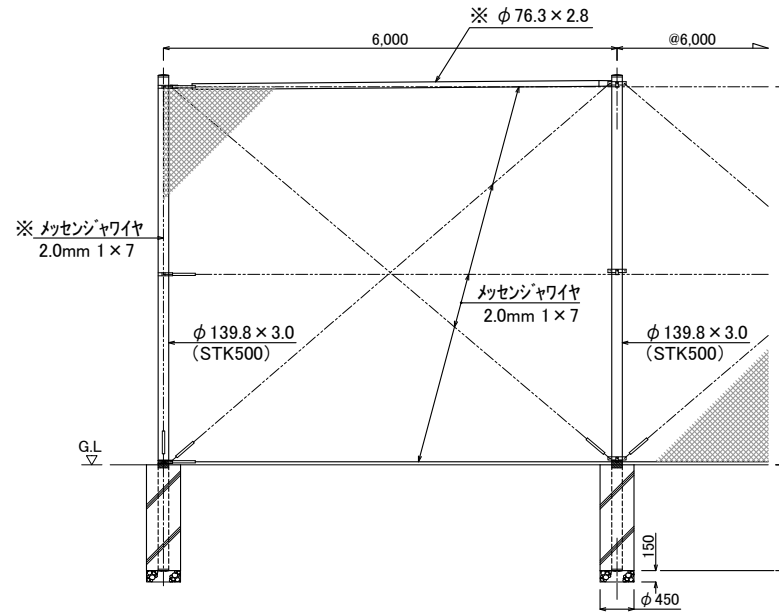
数量表

名称	仕様・摘要	単位	数量	
囲障工	防球フェンス設置工 : H5m SP防球フェンスH5-3型(全面金網張り) 下部 1.8m防風ネット張り	m	91.7	
	〃 : H5m SP防球フェンスH5-3型(全面金網張り)	m	44.3	
	〃 : H10m SP防球フェンスH10-3型(全面金網張り) 下部 1.8m防風ネット張り	m	91.7	
	〃 : H10m SP防球フェンスH10-3型(全面金網張り)	m	44.3	
	〃 : H1.2m UNフェンス(UN-GR1200-40:グラウトタイプ) コンクリート基礎 共	m	84.0	
	転落防止柵設置工 : H1.2m UNフェンス(UN-GR1200-40:グラウトタイプ)	m	67.0	
① 片開門扉設置工 : H1.2m × W1.0m UN-GR 片開き門扉 1,200-40 × W1,000	コンクリート基礎 共	箇所	6	
② 〃 : H2.0m × W1.0m SP防球用片開きくぐり門扉	コンクリート基礎 共	箇所	2	
③ 両開門扉設置工 : H3.0m × W3.0m SP防球用両開きくぐり門扉	コンクリート基礎 共	箇所	1	
④ 〃 : H3.0m × W4.0m SP防球用両開きくぐり門扉 下部 1.8m防風ネット張り	コンクリート基礎 共	箇所	1	
⑤ 〃 : H3.0m × W4.0m SP防球用両開きくぐり門扉	コンクリート基礎 共	箇所	1	
照明設備工	防護マット設置工 : H2.0m	照明塔支柱に設置	本	18

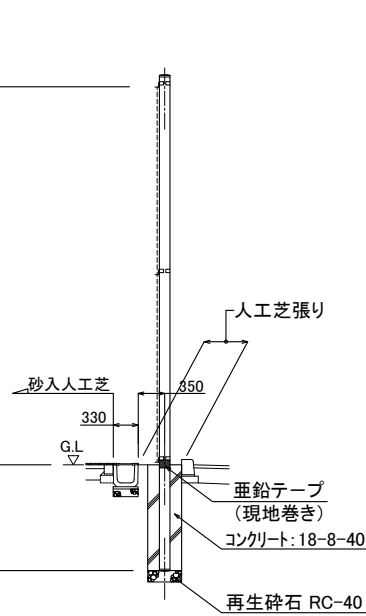
工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	囲障計画図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:200	図面番号	A-12
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		

H5m 防球フェンス S=1/50  
SP防球フェンスH5-3型(全面金網張り)

〈正面図〉:北側

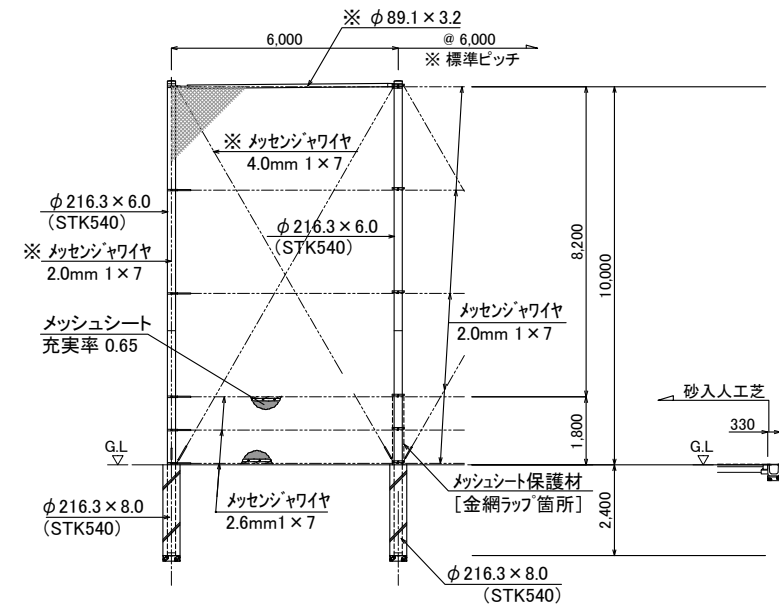


〈A-A断面図〉

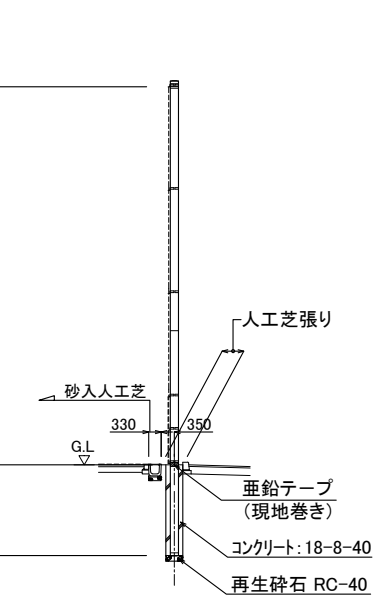


H10m 防球フェンス S=1/100  
SP防球フェンスH10-3型(全面金網張り) 〈B-B/D-D断面〉

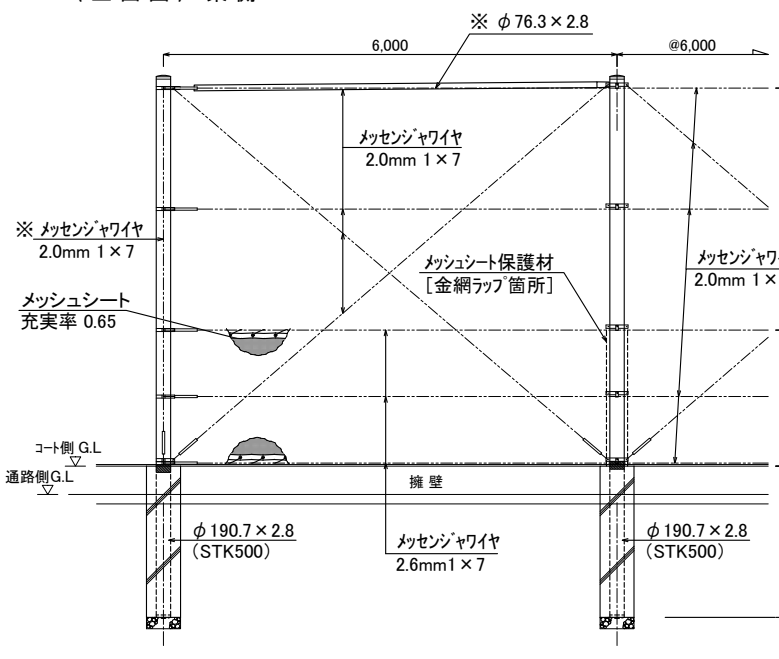
〈正面図〉:西側



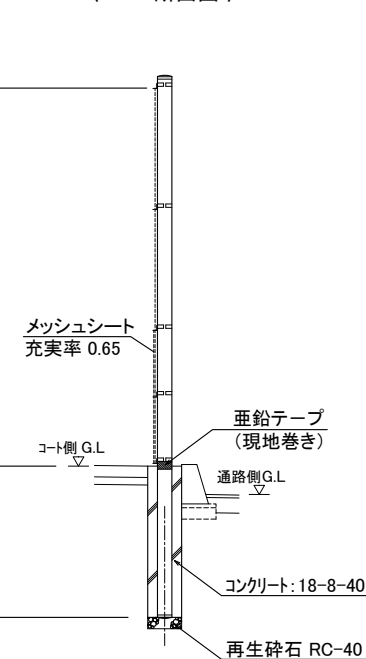
〈B-B断面図〉



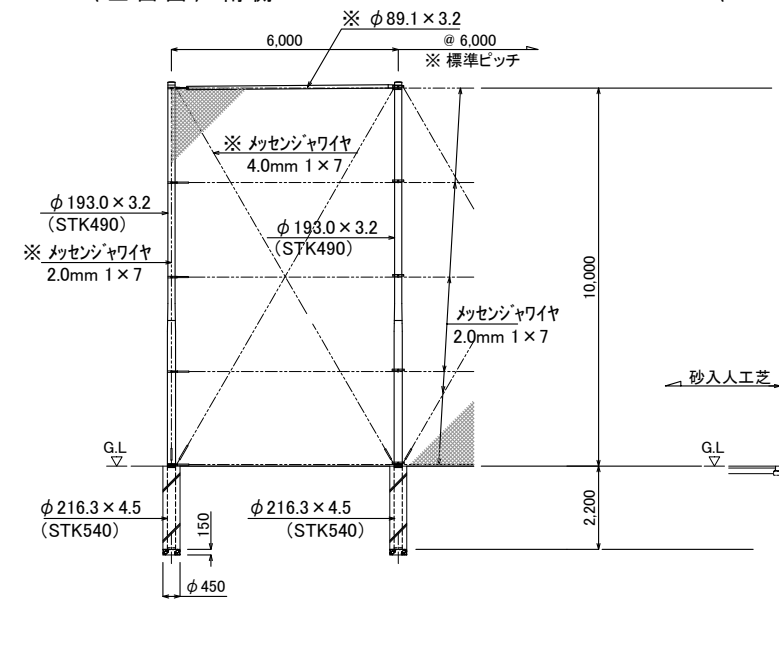
〈正面図〉:東側



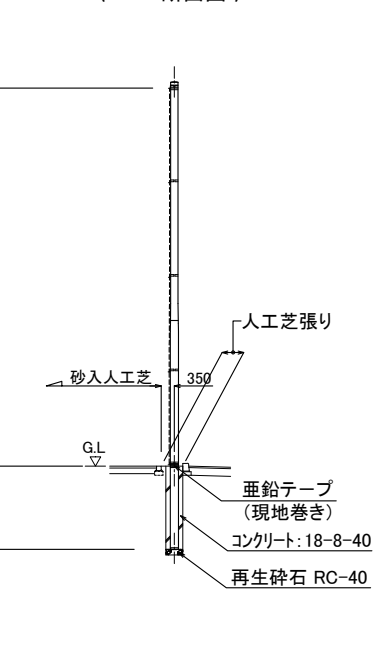
〈D-D断面図〉



〈正面図〉:南側

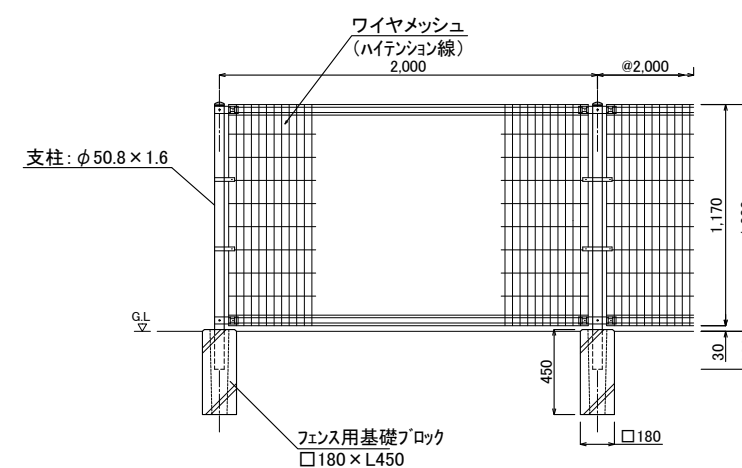


〈C-C断面図〉

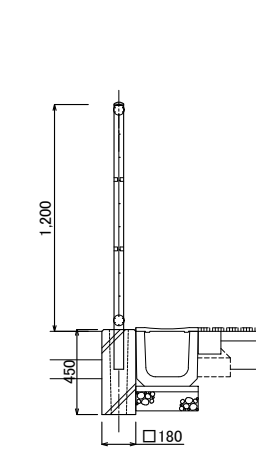


H1.2m 防球フェンス S=1/50  
UN-GR1,200-40(グラウンドタイプ) 〈通路・観覧席側〉

〈正面図〉



〈側面図〉



〈H5m・H10m 防球フェンス:仕様〉

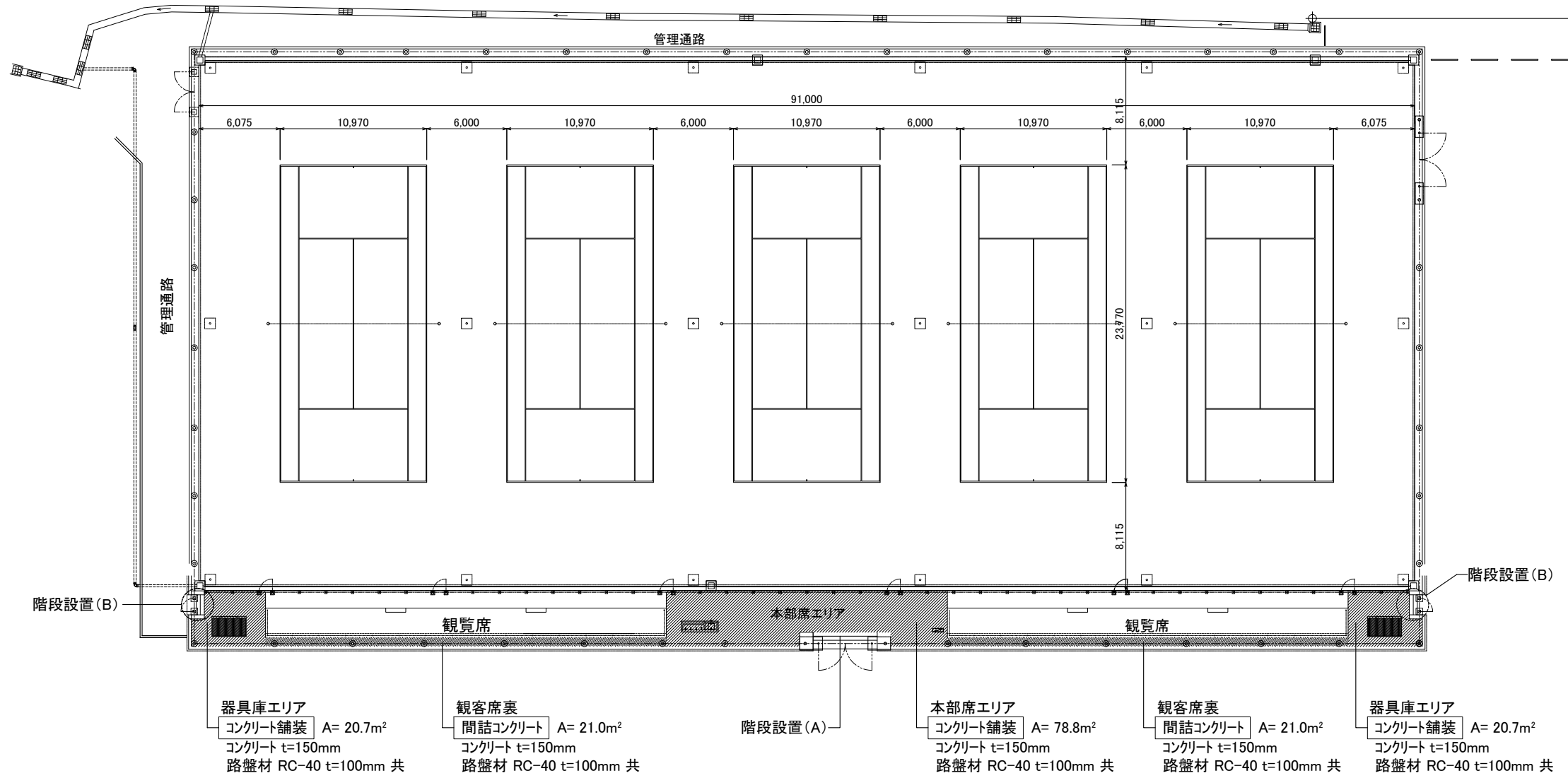
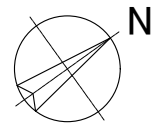
設計条件	設計荷重... 建築基準法・同施行令(平成12年6月)に基づく風圧力に依る。 基準風速...32m/sec 地表面粗度区分...Ⅲ 基礎条件...配電規程(JEAC7001) 土質係数・普通土質(B)に依る。
金網:仕様	菱形金網 φ1.8×40mm (カラーハガネ鉄線) (素線抗張力 940N/mm <sup>2</sup> ~1,180N/mm <sup>2</sup> ) (亜鉛付着量250g/m <sup>2</sup> 以上) [垂し張り(列線横方向)]
備考	1. 外装は金網類を除き、支柱・横材・取付バンドは溶融亜鉛めっきの上塗装とし、他の部品、部材は溶融亜鉛めっきのみとする。 2. ※印部材は端末、所定コーナーに本図の如く設けること。

〈H1.2m 通路・観覧席フェンス:仕様〉

設計条件	設計荷重... 昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。 基礎条件...長期許容地耐力 98KN/m <sup>2</sup> (10t/m <sup>2</sup> )
備考	1. 外装について ・支柱、ジョイント 押え金具 ワイヤメッシュ ... 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装 ・バンド ... 溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装 ・ボルト、ナット ... 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
注記	・ジョイント取付方向は現地状況に応じて打合せに依り決定とする。尚取付ボルト、ナットのボルトはジョイント側、パネルの縦線はグラウンド側とする。

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	囲障構造図-1		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:50	図面番号	A-13
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		



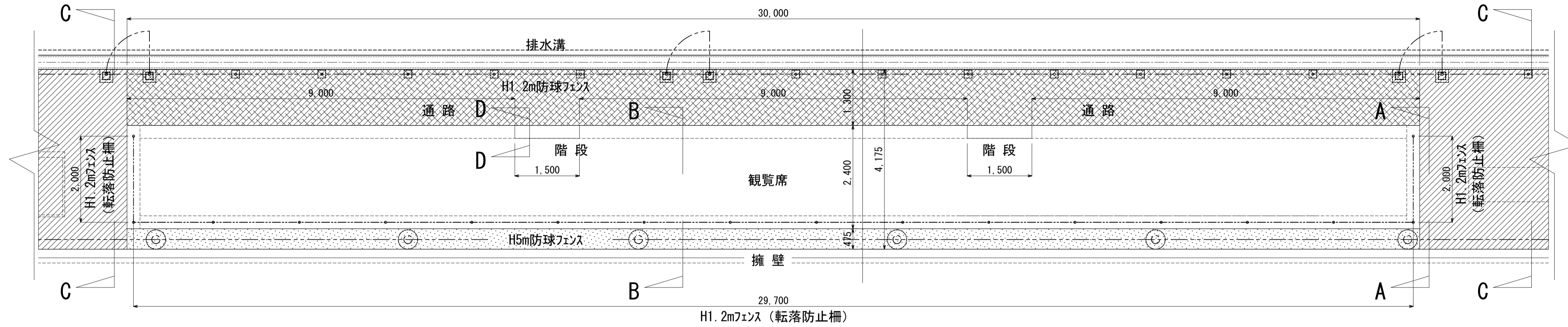


数量表

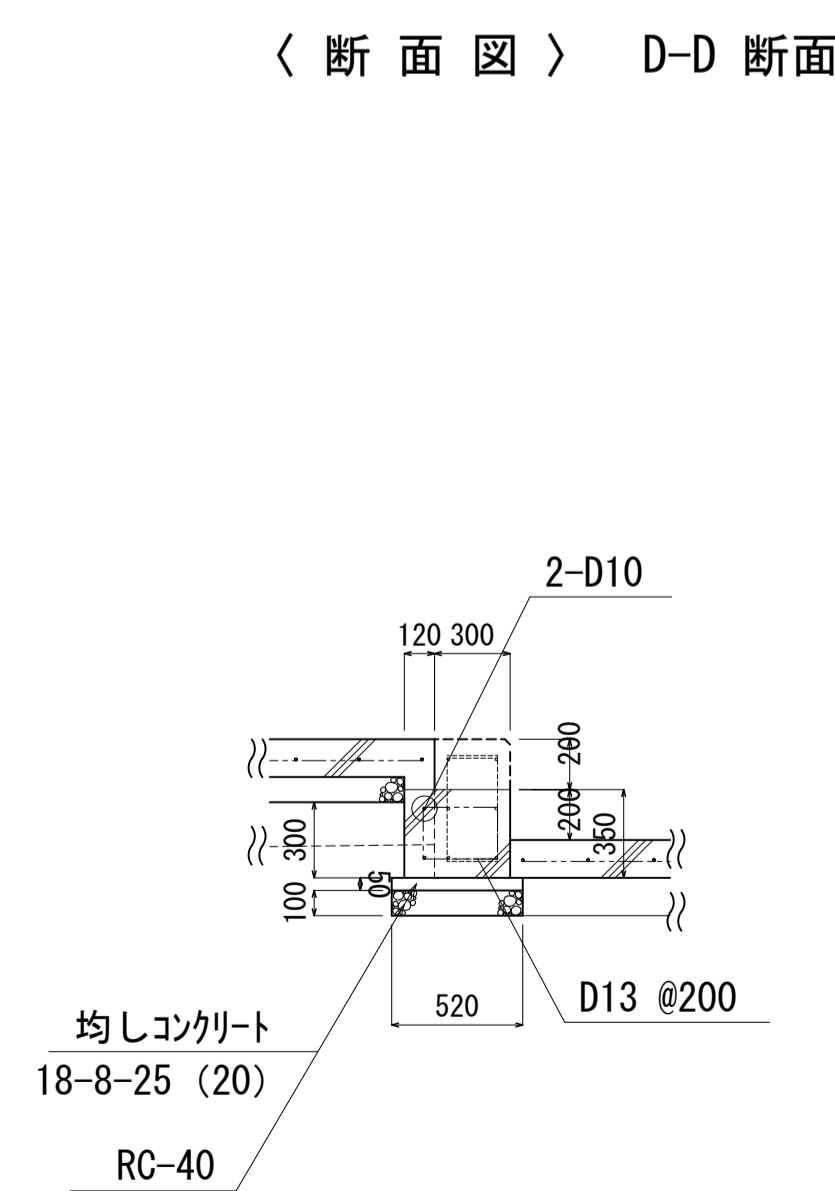
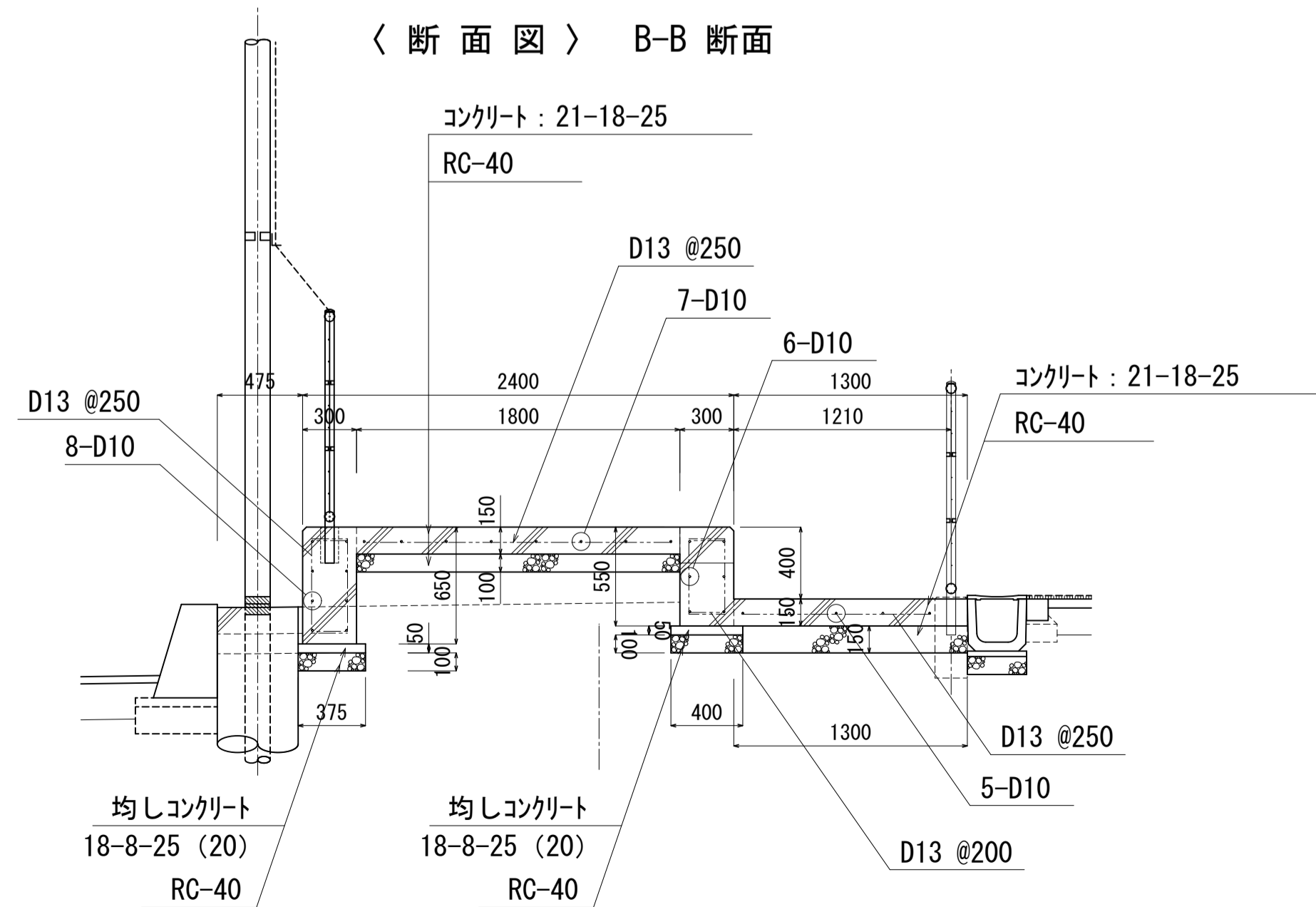
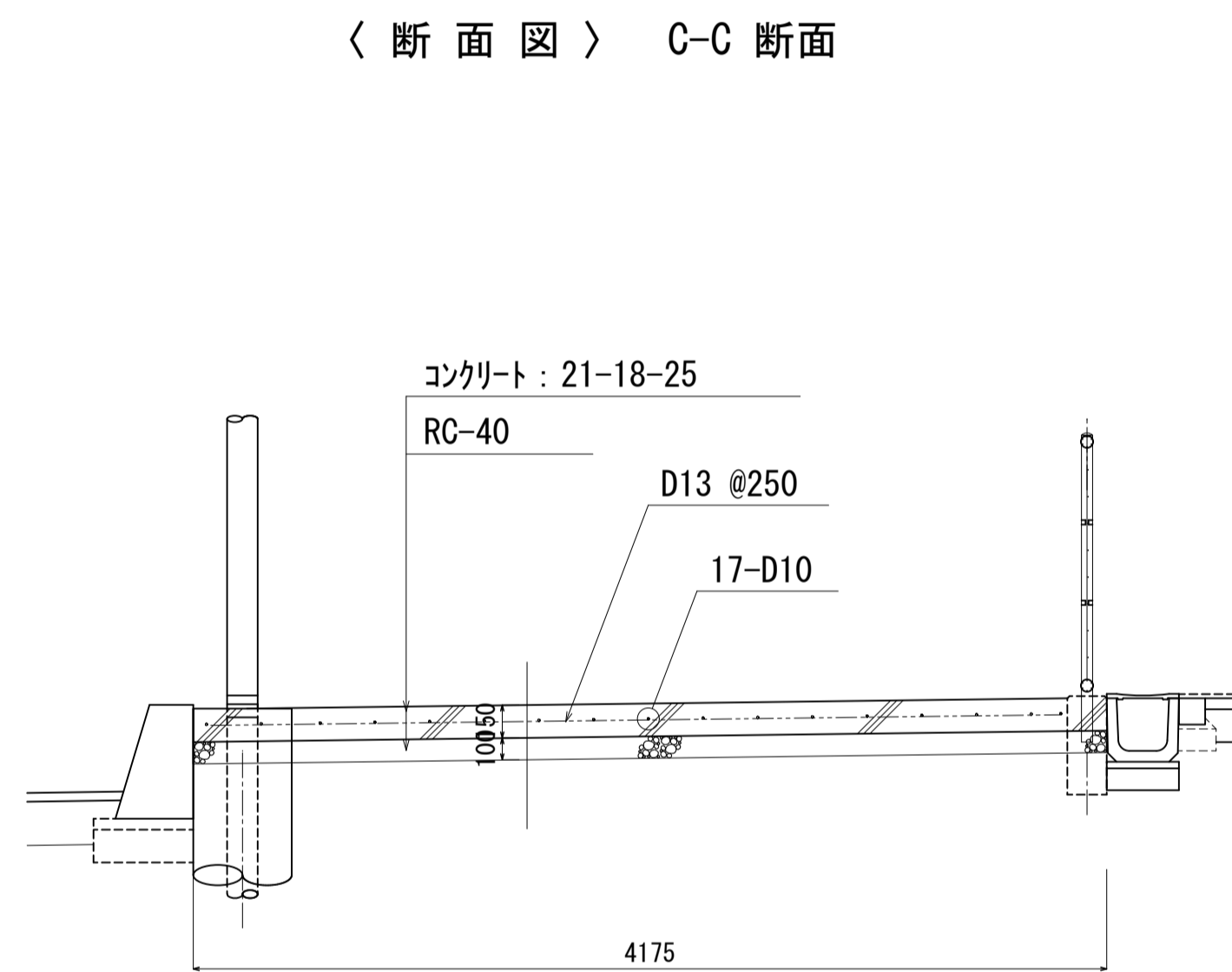
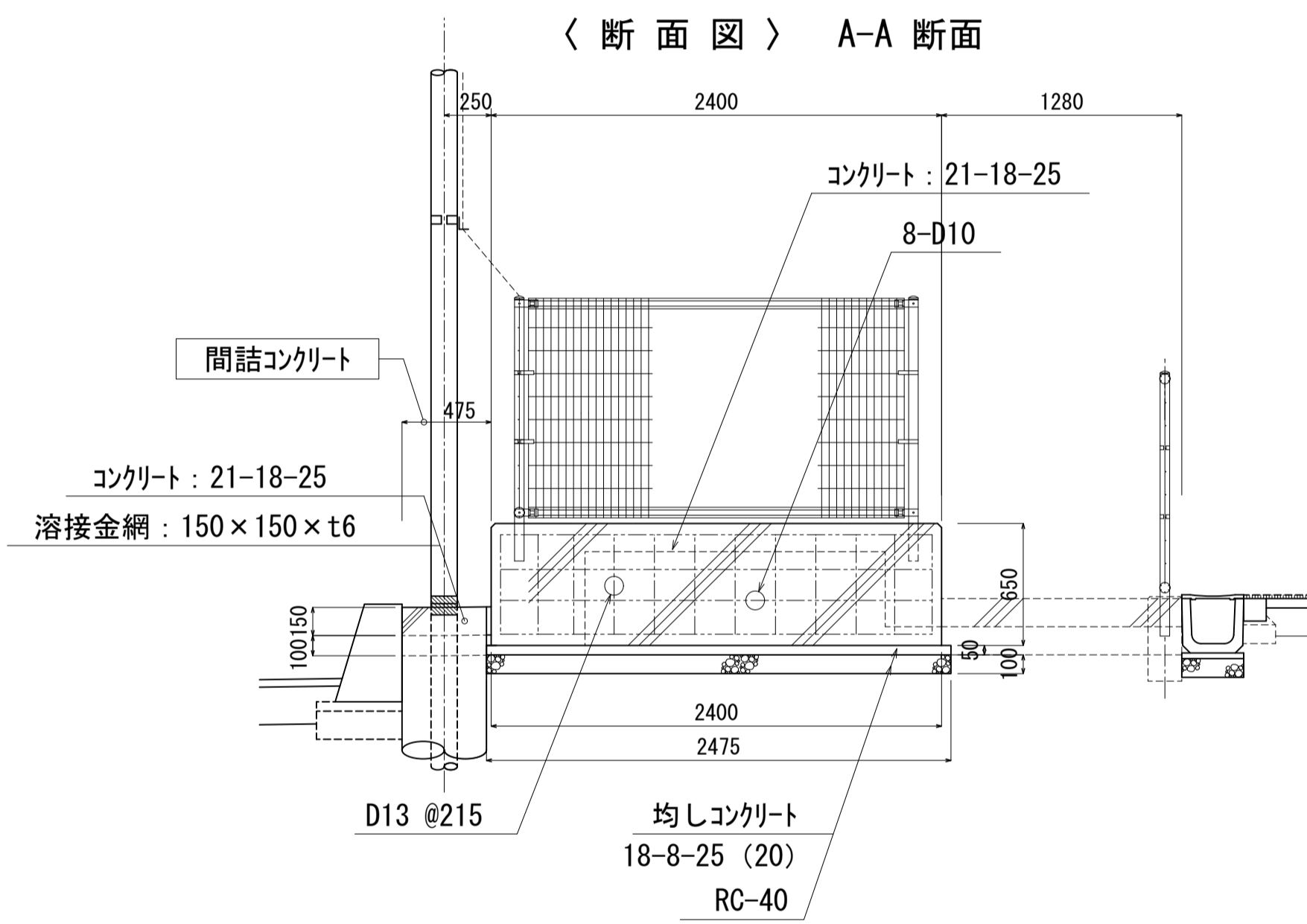
名称	仕様・摘要	単位	数量
本部席エリア工 器具庫エリア工	コンクリート舗装工:鉄筋コンクリート t150mm 路盤 RC-40 t100mm 共	m <sup>2</sup>	120.2
	間詰コンクリート工:コンクリート t150mm / 溶接金網 150×150×t6 共 路盤 RC-40 t100mm 共	m <sup>2</sup>	42.0
	階段工(A):鉄筋コンクリート・W4.5m 蹴上130mm×2段 基礎砕石 RC-40 t100mm 共	箇所	1
	階段工(B):鉄筋コンクリート・W1.5m 蹴上130mm×2段 基礎砕石 RC-40 t100mm 共	箇所	2
	物置設置工:L2,469×W1,336×h1,914	箇所	2
	水飲み設置工:PC製水飲み(水栓×4、足洗×1)	箇所	1

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	本部席・器具庫エリア計画図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:200	図面番号	A-15
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		

観客席平面図 S=1/30

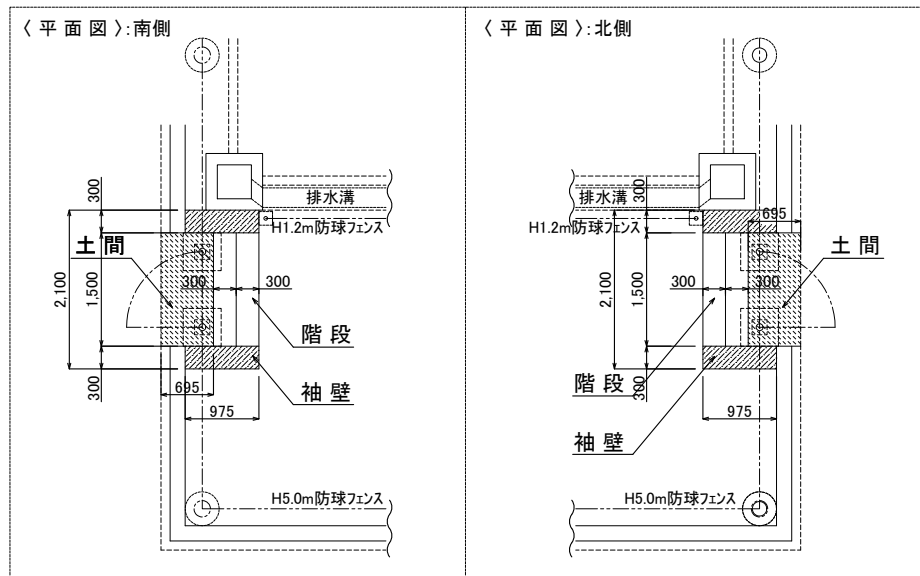


観客席詳細図 S=1/30

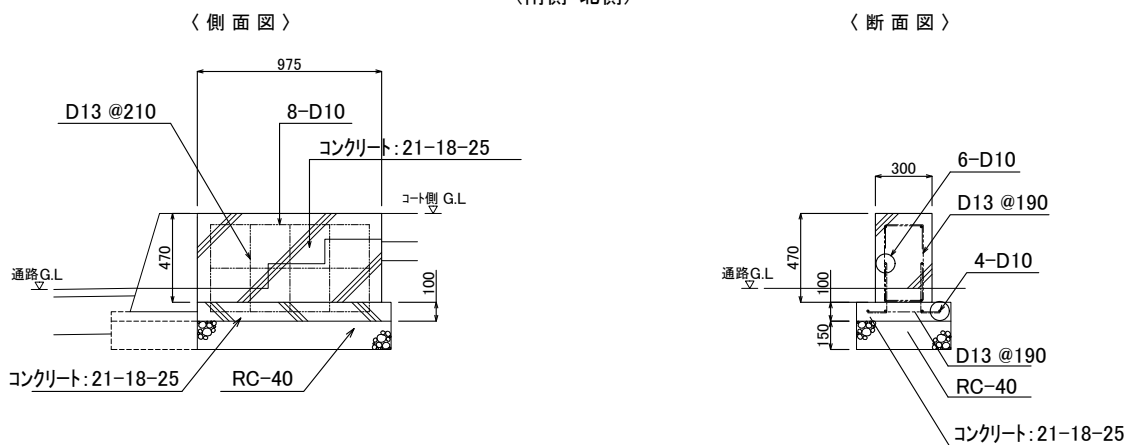


工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	観客席詳細図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:30	図面番号	A-16
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		

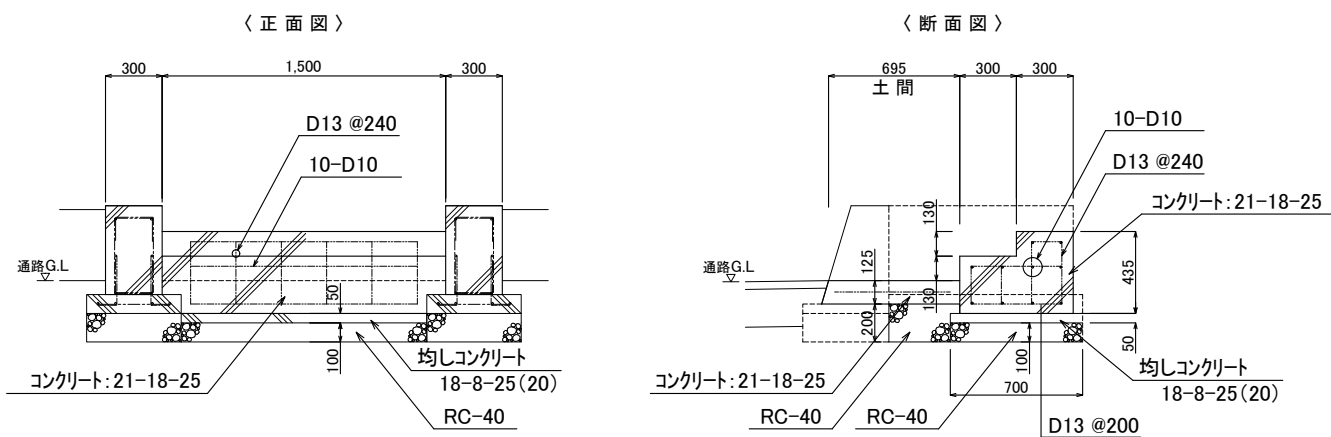
階段部詳細図(南側・北側) S=1/50  
片開き門扉: W1.0m付近



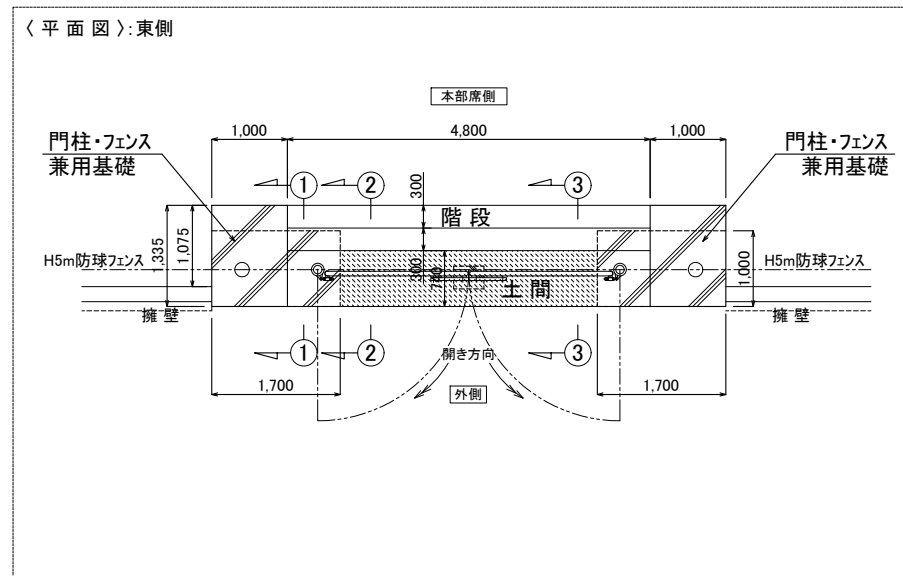
階段詳細図 S=1/20  
(南側・北側)



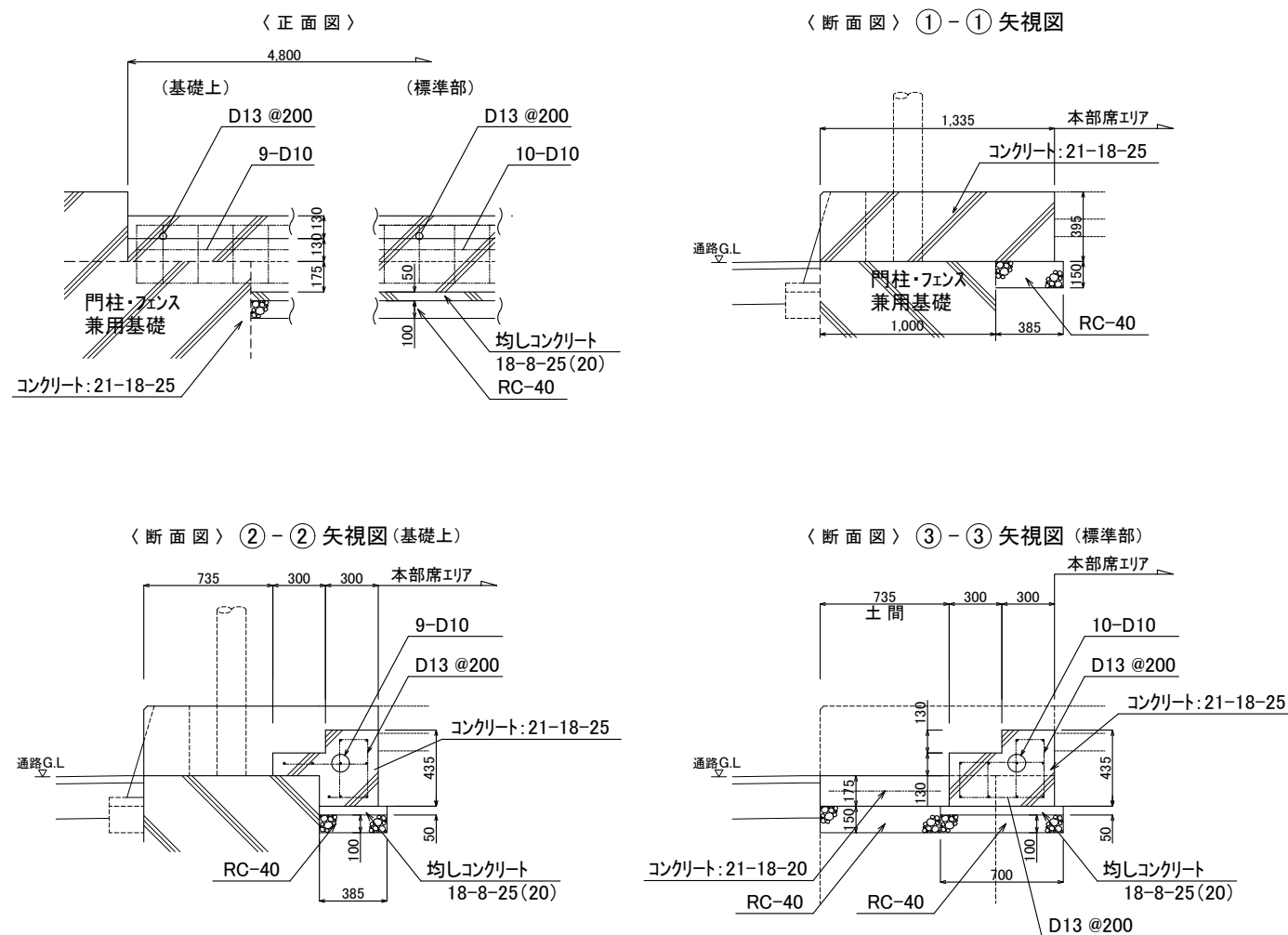
階段詳細図 S=1/20



階段部詳細図(東側) S=1/50  
両開き門扉: W4.0m付近

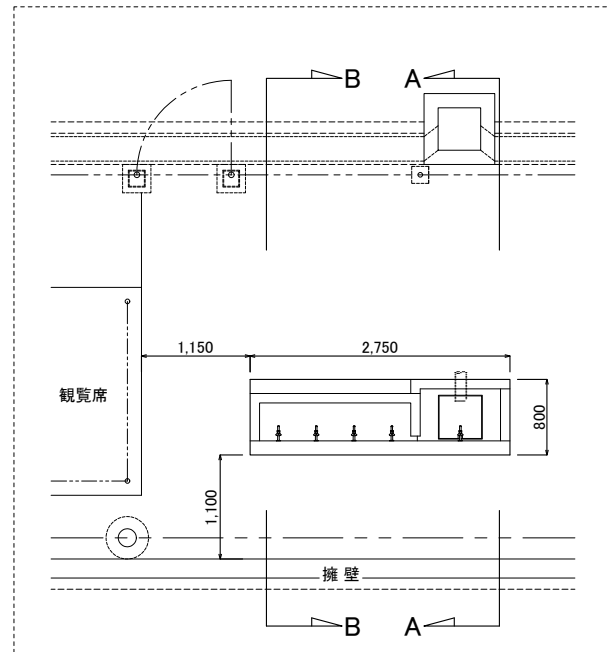


階段詳細図 S=1/20  
(東側)

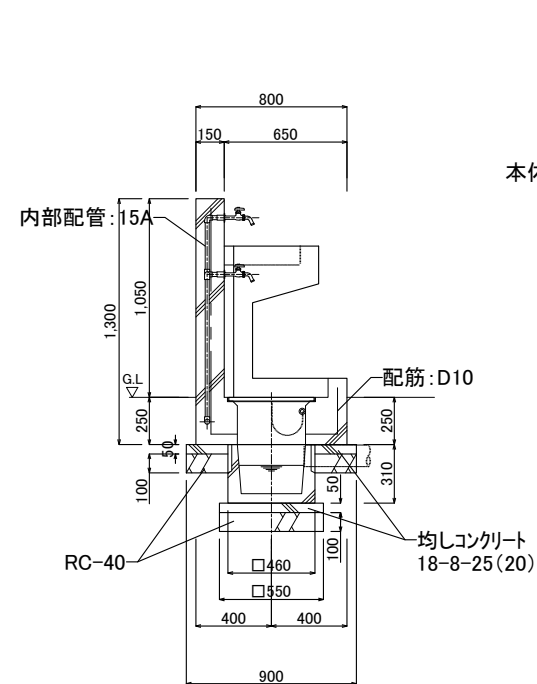


工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	階段部詳細図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:50	図面番号	A-17
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		

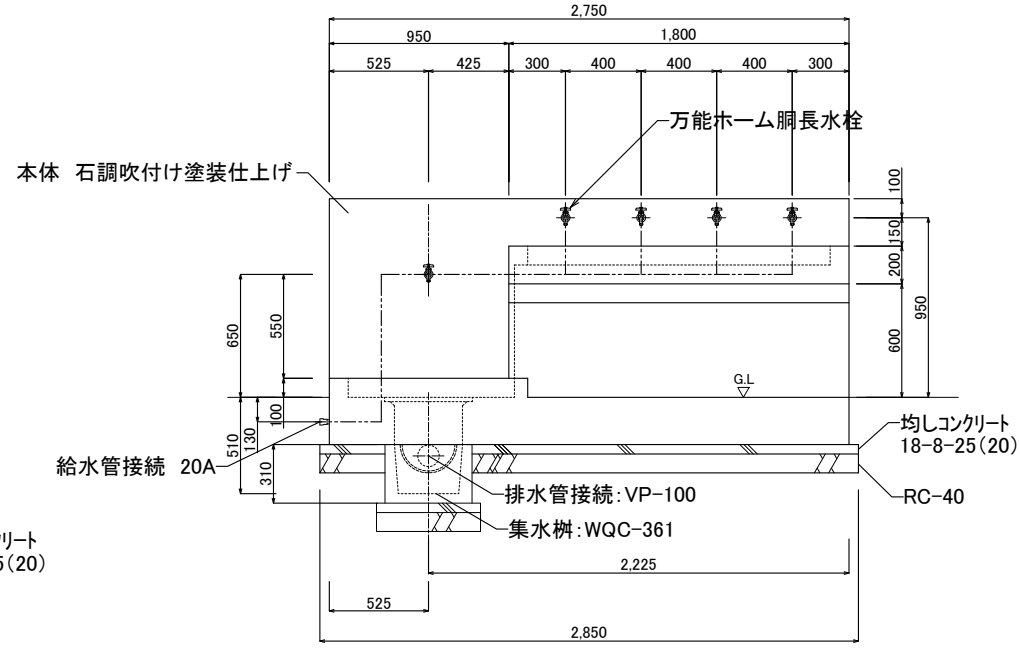
〈配置図〉



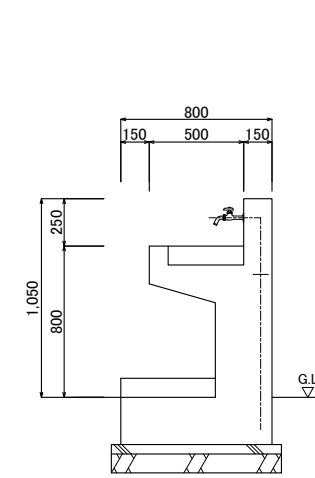
〈断面図〉



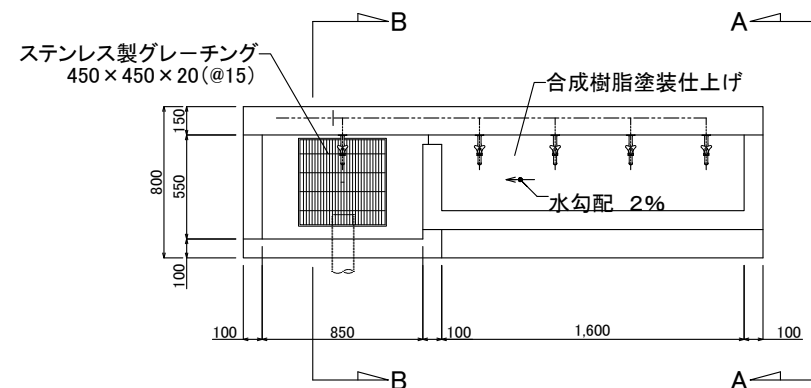
〈正面図〉



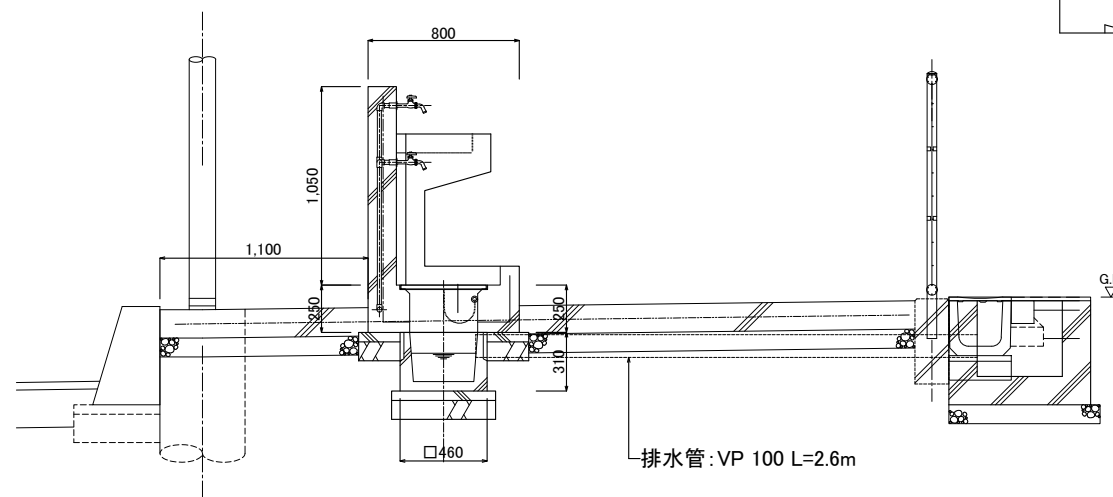
〈側面図〉



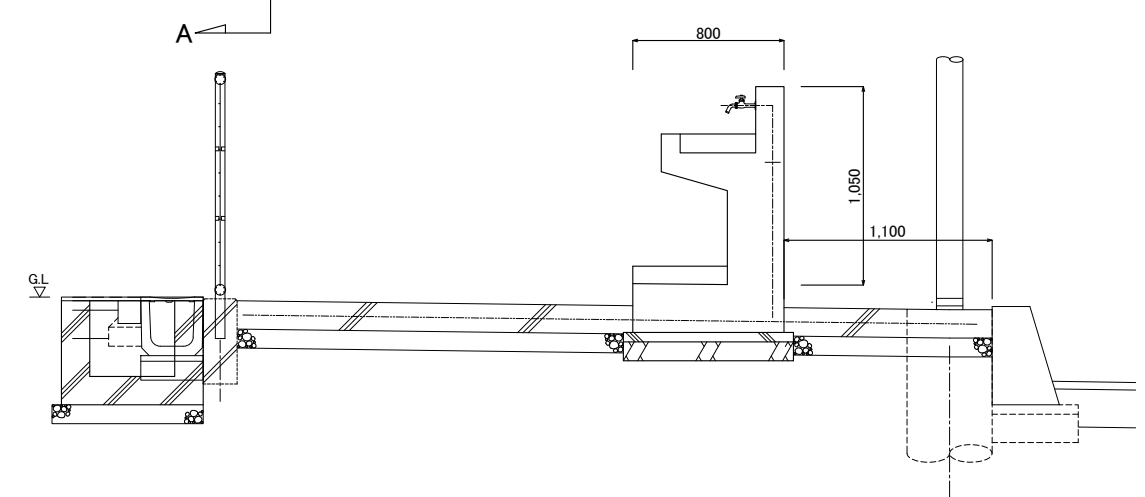
〈平面図〉



〈A-A 方向取合図〉



〈B-B 方向取合図〉



仕様

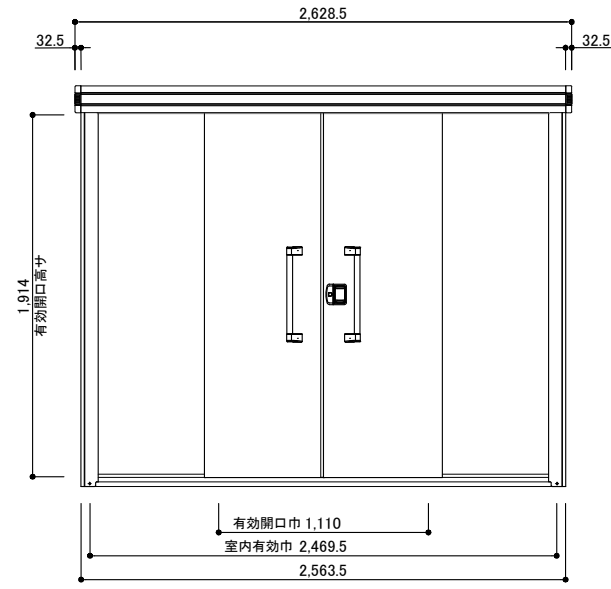
本体 : RC造、角面取り、石調吹付け塗装、一部合成樹脂塗装仕上げ  
 内部配管 : 配管用ステンレス鋼管、ステンレス製継手、防寒材巻き  
 集水樹蓋 : ステンレス製グレーチング、ステンレスチェーン付き

※ 水栓及び給水管などの凍結破損が予測される場合は、水抜き等の処置を必要とする。

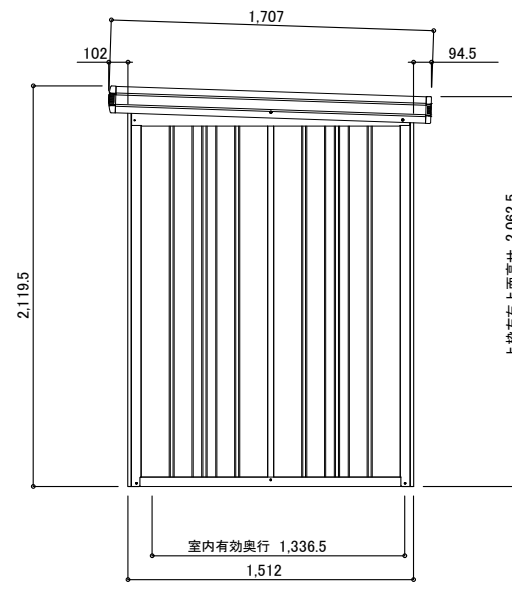
\* 本製品は(株)サカエ製品、或いは本仕様以上とする。  
 \* 本製品は(一社)日本公園施設業協会によるSP、又はSPL表示認定企業の製造品とする。  
 \* 本製品は(一社)日本公園施設業協会による公園施設団体賠償責任保険制度の加入品とする。

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	手足洗い場詳細図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:20	図面番号	A-18
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		

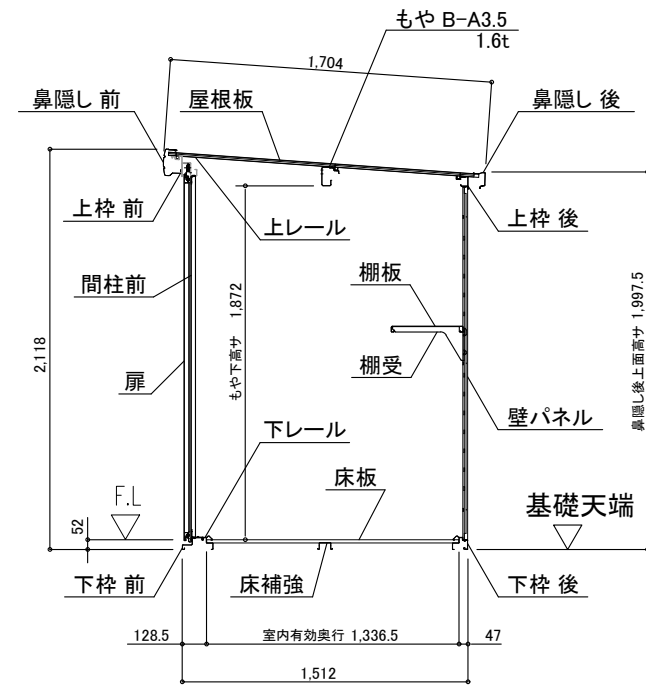
〈正面図〉



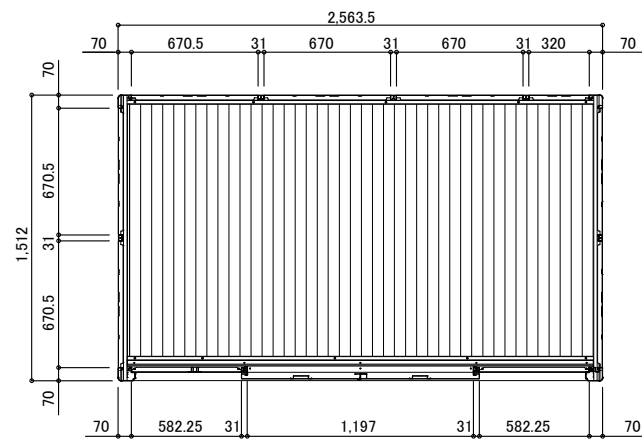
〈側面図〉



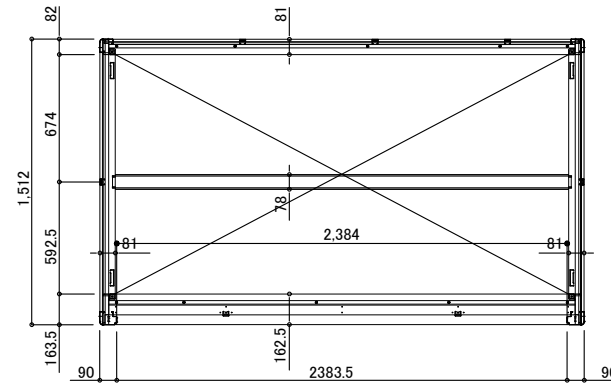
〈矩形図〉



〈平面図〉



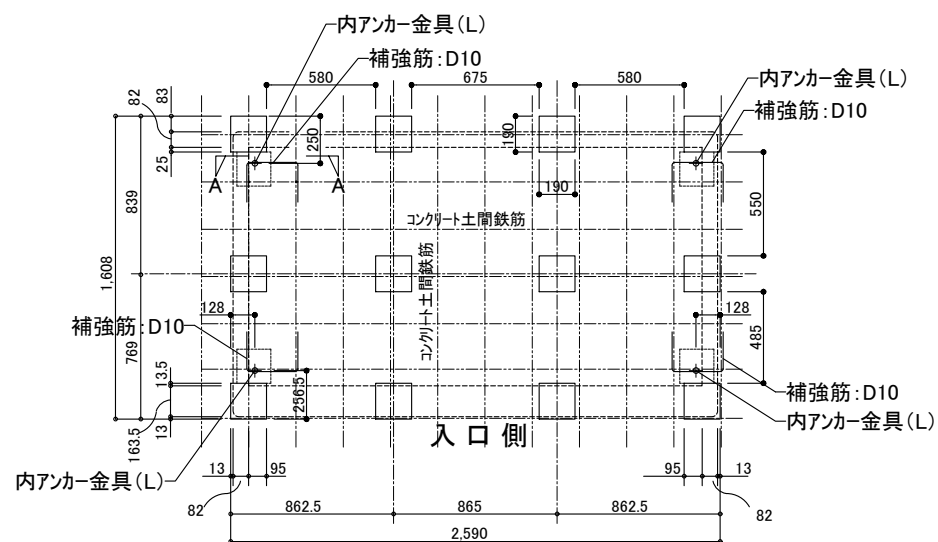
〈床伏図〉



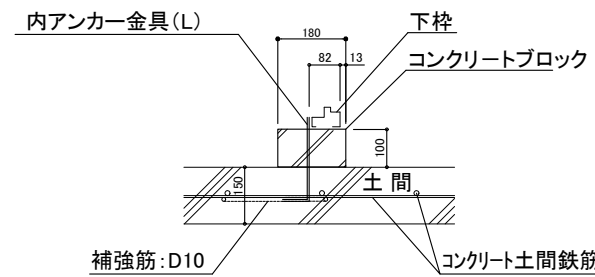
部 材 名	厚さ(m/m)	材 質
屋根板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床 補 強	1.2	JIS G3321 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SGLCC
<一般型>もや B-A3.5	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<積雪型>もや D-A3.5S	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<積雪型>もや E-A3.5SW	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下枠前(側・後)	1.2(1.0)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 前(後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 左 右	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (ツートンカラー)
上枠補強(積雪型のみ)	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
上レール	1.2	アルミニウム合金押出型材
下レール	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (ツートンカラー)
鼻隠し後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
扉	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
壁パネル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
袖壁	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間 柱	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
アンカープレート(L)	2.3	JIS G3302 溶融亜鉛めっき鋼板 SGCC(後塗装仕上げ)

部 材 名	サイズ(巾×高さ)
扉 右 L-E	629 × 1,938
扉 左 L-E	629 × 1,938
壁パネル L-A	670 × 1,870
壁パネル L-F	319.5 × 1,870
袖壁 L-E	582 × 1,909

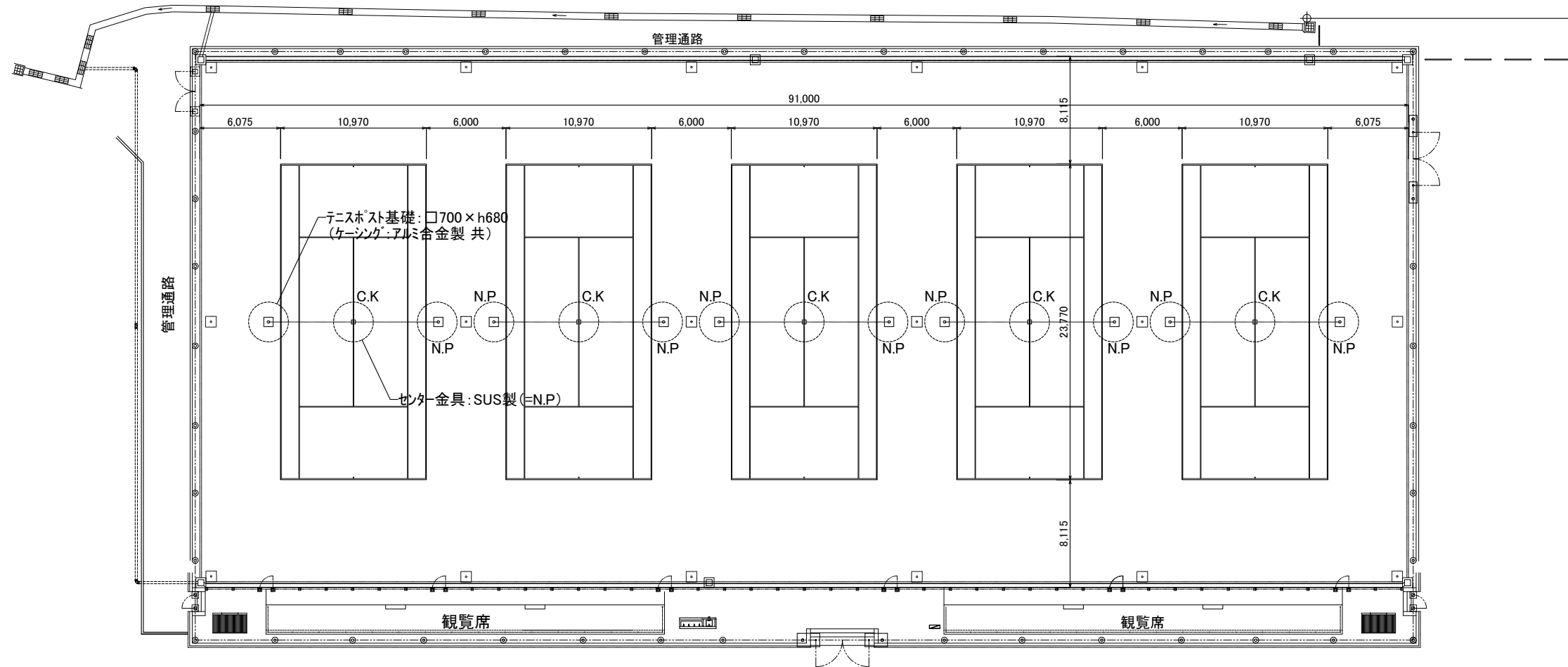
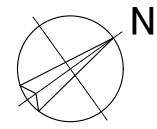
〈基礎配置図〉



〈ブロック基礎詳細図〉 S=1/10  
A-A' 断面



工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	物置詳細図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:20	図面番号	A-19
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		



数量表

名称	仕様・摘要	単位	数量
付帯施設工	ネットポスト基礎設置工:埋設管(アルミ合金)	コンクリート基礎共	対 5
	センター金具設置工: SUS製	コンクリート基礎共	箇所 5

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	付帯施設計画図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:200	図面番号	A-20
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕪 崎 市		





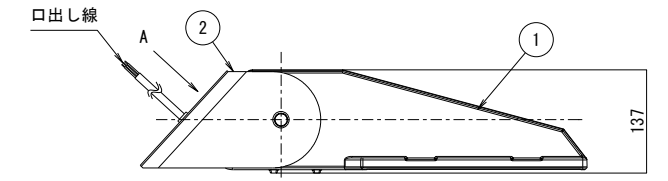
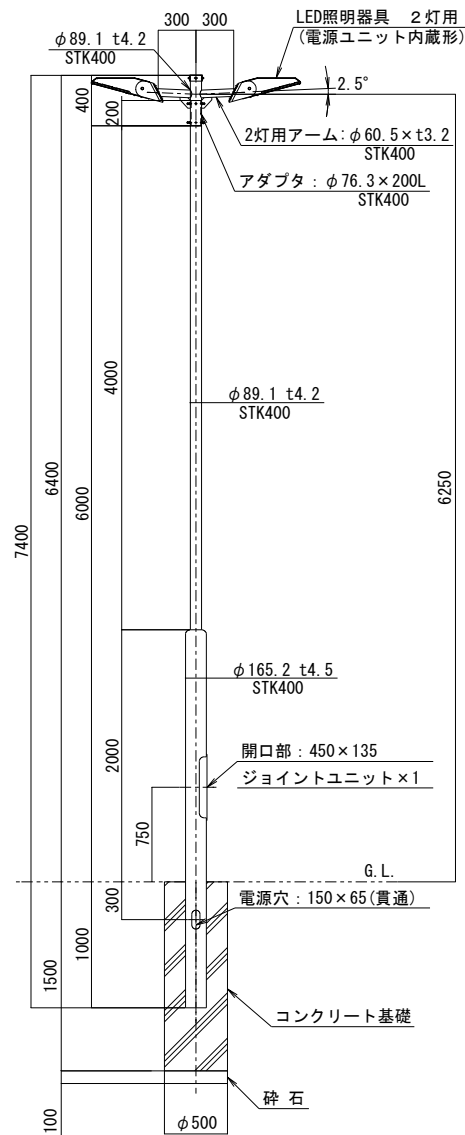
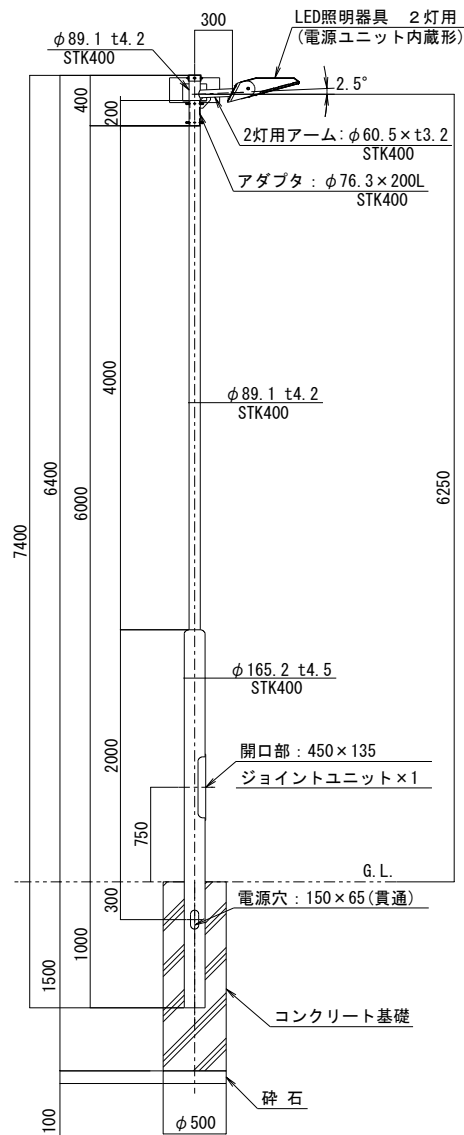
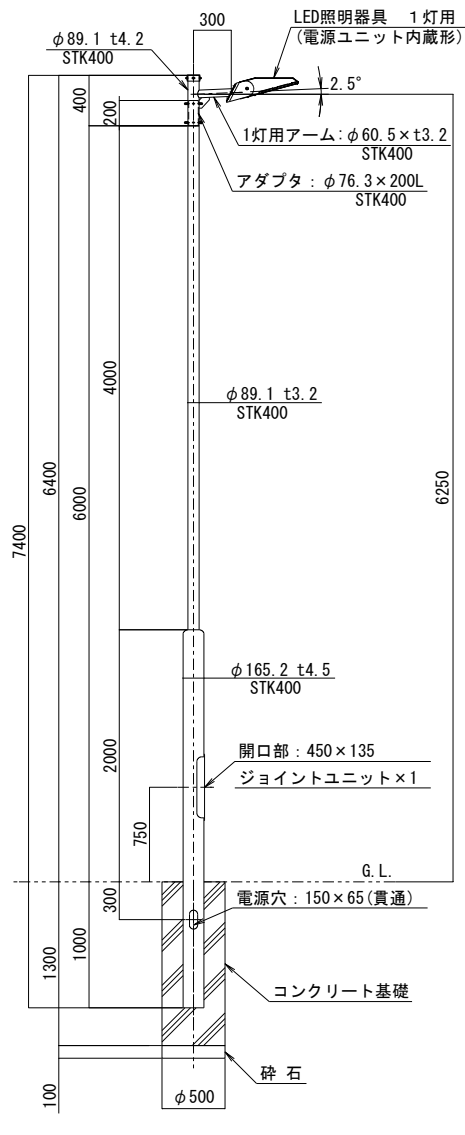
# 照明柱姿図 S=1:30

1灯用

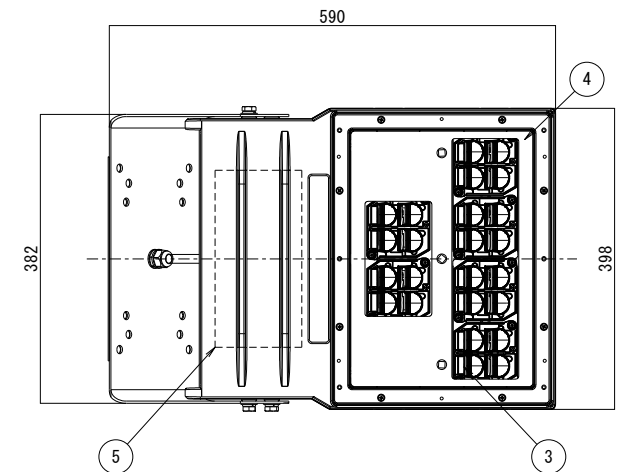
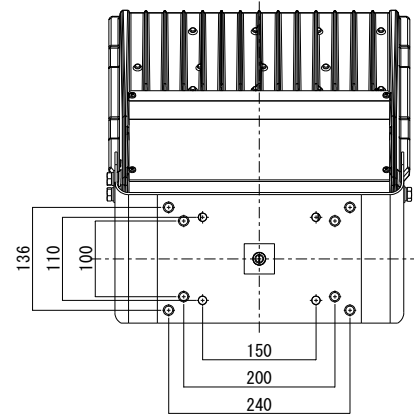
2灯用

2灯用

テニスコート専用照明詳細図 S=1/5  
300クラス



A矢視図



部番	部品名	材質・材厚	数	備考
1	本体	アルミダイカスト	1	塗装
2	取付台座	ステンレス t3	1	塗装
3	反射鏡	アルミダイカスト	6	鏡面仕上
4	前面カバー	強化ガラス t4	1	透明
5	電源装置	組込品	1	

光源色	昼白色 (5,000K)
LEDモジュール寿命	40,000時間 (光束維持率95%)
定格光束	44,500lm
平均演色評価数	Ra 70
保護等級	IP65
仕上色	ダークグレー 日塗工N-30半艶 重耐塩塗装

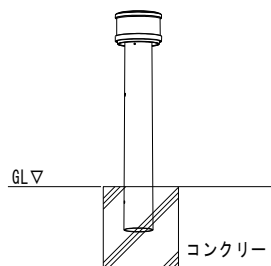
初期照度補正機能付き

電気特性表

入力電圧 (V)	周波数 (Hz)	入力電流 (A)			入力電力 (W)		
		点灯初期時 (最小値)	点灯4万時間経過時 (最大値)	点灯4万時間平均値	点灯初期時 (最小値)	点灯4万時間経過時 (最大値)	点灯4万時間平均値
200	50 / 60	1.56	1.60	1.64	307	316	325

LED照明器具 : ET30001/NSAJ2 (参考)

外灯 低ボール照明 EGL04045/LSAN9+PGL37 (参考)

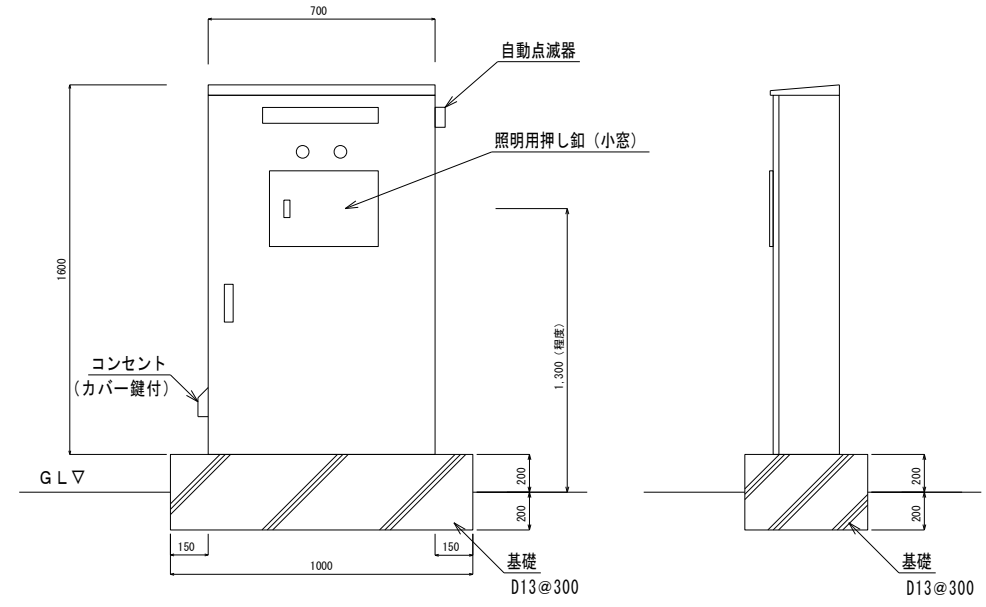


定格光束 : 5501lm  
消費電力 : 7.5W (100V)  
寿命 : 60000時間  
光源色 : 2700K  
演色性 : Ra80  
質量 : 3.1kg

コンクリート基礎W400×H500

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	照明器具姿図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1 : 30	図面番号	E-02
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		

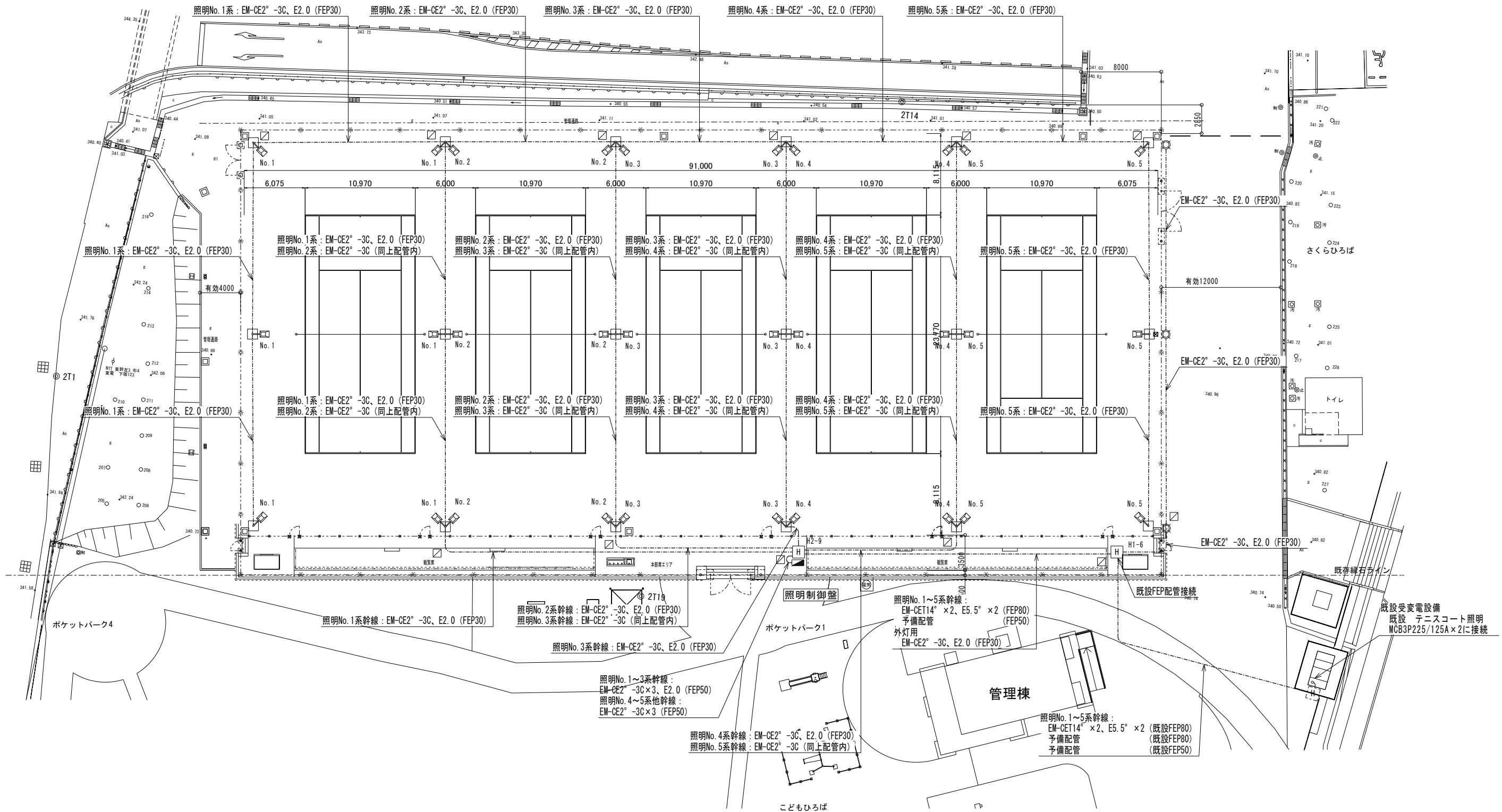
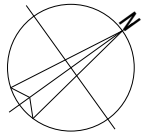
盤名称 電源方式 キャビネット方式	主幹開閉器	回路番号		負荷容量		負荷名称	分岐開閉器					方式 操作 制御	スイッチ 操作 制御	備考	
		100V	200V	VA	KW		MCCB	ELCB	R-RY	AF	AT				
照明制御盤盤															
受変電設備より 1φ200V 14° MCB3P 50/50A F		①		1,950		テニスコートNo.1			2P	50	20		B	盤面押し紐にて点灯	
		②		1,950		テニスコートNo.2			2P	50	20		B	盤面押し紐にて点灯	
		③		1,950		テニスコートNo.3			2P	50	20		B	盤面押し紐にて点灯	
		合計		5,850											
		④		1,950		テニスコートNo.4			2P	50	20		B	盤面押し紐にて点灯	
			⑤		1,950		テニスコートNo.5			2P	50	20		B	盤面押し紐にて点灯
			合計		3,900										
			①		23.7		アプローチ灯			2P	50	20	4-1	TR+/-	自動点滅器+ ソーラータイマー2.4H(停電補償付)
			②		300		コンセント他電源			2P	50	20			盤側面にコンセント(カバー付) 2P15A×2ET+カバー(WN7863K)
			③		1,000		予備			2P	50	20			
		④		1,000		予備			2P	50	20				
		合計		12,073.7		VA									
屋外SUS製 自立型 指定色塗装															



注記)  
1、盤及び基礎サイズは参考とする。(盤サイズが決まり次第基礎サイズは確認すること)

制御方式、スイッチ記号は公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新版)による。  
分岐開閉器はJIS協約形コンパクトタイプとする。  
主幹ブレーカは中性線欠相保護付きとする。

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	照明制御盤 結線図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:200	図面番号	E-03
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	葦 崎 市		

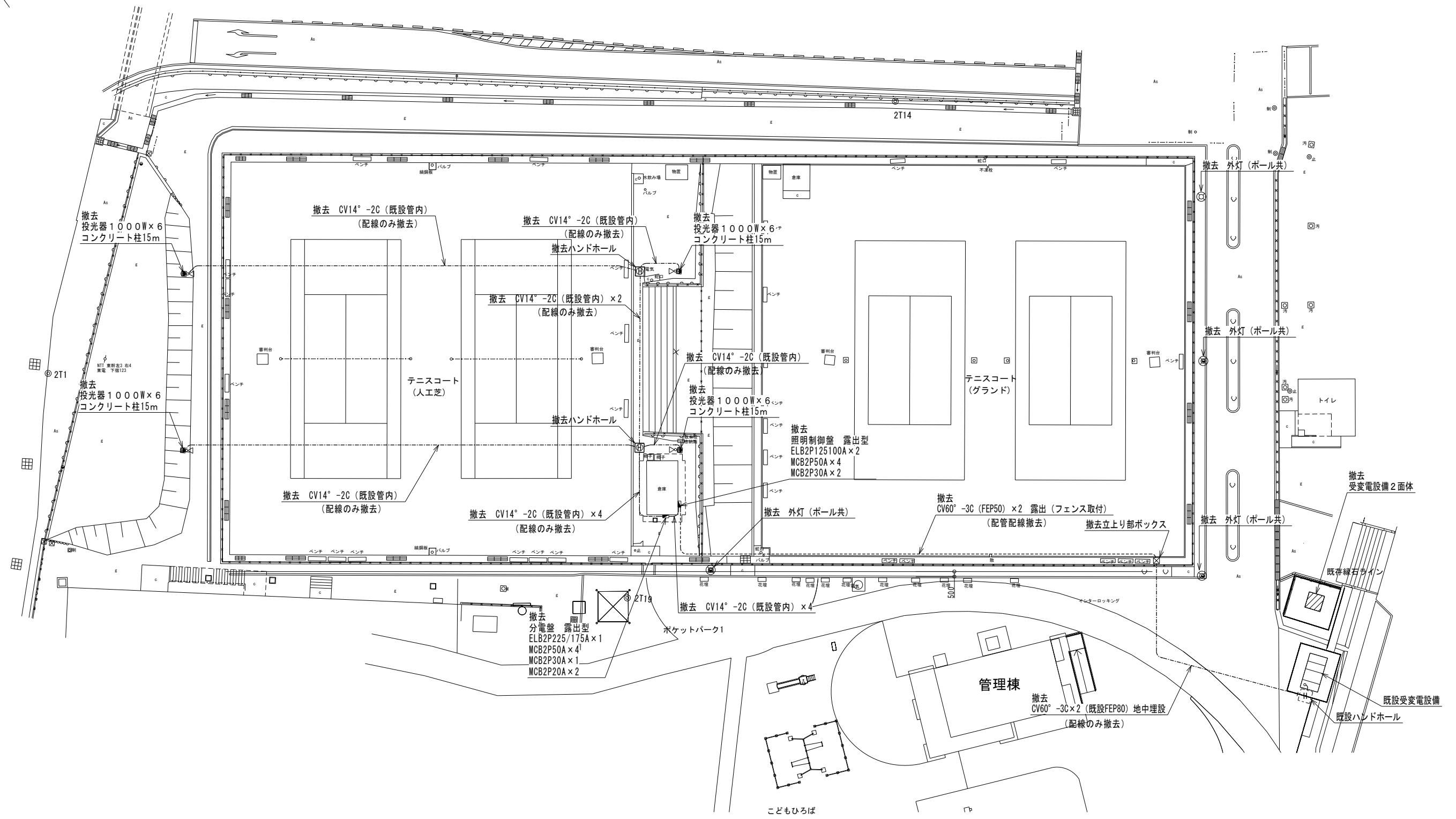
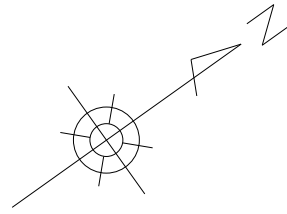


凡例

- テニスコート用照明器具 1灯用 (機器姿図参照)
- テニスコート用照明器具 2灯用 (機器姿図参照)
- 外灯 低ポール照明 (機器姿図参照)
- 照明制御盤 (単線結線図参照)
- H1-6 ハンドホール H1-6 R2K-60 (ハンドホールに埋設標  取付)
- H2-9 ハンドホール H2-9 R2K-60 (ハンドホールに埋設標  取付)

- 注記)
- 1、受変電設備から第一ハンドホール間は既設埋設配管を使用する。位置については確認の上施工すること。
  - 2、テニスコート用照明及び外灯は位置確認の上施工すること。
  - 3、テニスコート用照明については照度分布図作成し、照度測定を行うこと。
  - 4、テニスコート用照明のポールに巻くクッションは土木工事で取り付けること。
  - 5、各接地は既設受変電設備の接地に接続すること。
  - 6、観客席エリアのハンドホール、配管の詳細埋設位置は施工図により現場協議を行うこと。

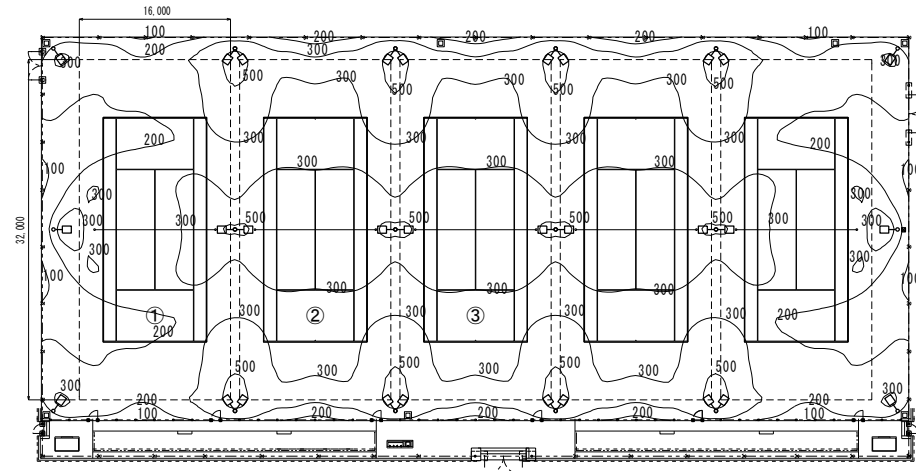
工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	新設 照明設備図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1:200	図面番号	E-04
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		



- 注記)
- 1、既設照明器具、配管配線を確認し、撤去とする。
  - 2、地中埋設配管は基本残置とするが、造成作業中に撤去可能であれば撤去とする。
  - 3、照明器具・コンクリート柱及び付属機器類、露出配管は撤去とする。
  - 4、撤去する受変電設備はPCB機器等調査し適切に処分すること。(基礎は残置とし配管穴等は穴埋め処理する)

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	撤去 照明設備図		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	1 : 200	図面番号	E-05
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		

照度分布図 全点灯 S=1:150  
(JISⅢ、鋼管H=6m)



凡例	○-□	○-□	○-□
照明器具形式	ET30001/NSAJ2 (器具角度15)	ET30001/NSAJ2 × 2 (器具角度15)	ET30001/NSAJ2 × 2 (器具角度15)
光源	昼白色LED		
光束 (lm)	44,500	44,500 × 2	44,500 × 2
アクセサリ	なし	なし	なし
保守率	0.93		
灯高 (m)	6.3	6.3	6.3
出幅 (m)	0.3	0.3	0.3
数量 (台)	6	8	4

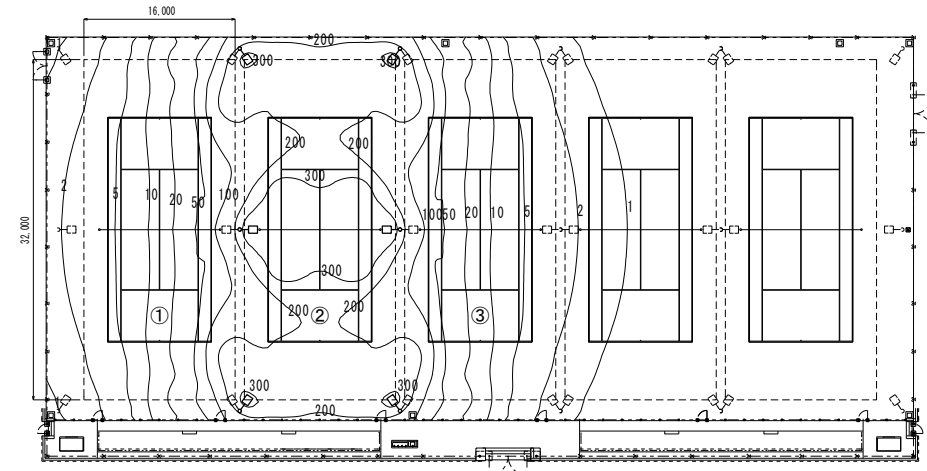
点灯: ○-□

照度・GR及び計算範囲	JIS照度基準 区分Ⅲ		
	① 576 m <sup>2</sup>	② 576 m <sup>2</sup>	③ 576 m <sup>2</sup>
維持平均照度 (lx)	264	323	325
照度均斉度 (最小/平均)	0.59	0.71	0.71
GR最大値	50.4	48.7	45.9

(注記)

1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。単位: (lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。
3. 地面の反射率は15%(芝)とする。
4. 光束は器具単体の値とする。

照度分布図 ②点灯 S=1:150  
(JISⅢ、鋼管H=6m)



凡例	○-□	○-□	○-□
照明器具形式	ET30001/NSAJ2 (器具角度15)	ET30001/NSAJ2 × 2 (器具角度15)	ET30001/NSAJ2 × 2 (器具角度15)
光源	昼白色LED		
光束 (lm)	44,500	44,500 × 2	44,500 × 2
アクセサリ	なし	なし	なし
保守率	0.93		
灯高 (m)	6.3	6.3	6.3
出幅 (m)	0.3	0.3	0.3
数量 (台)	6	8	4

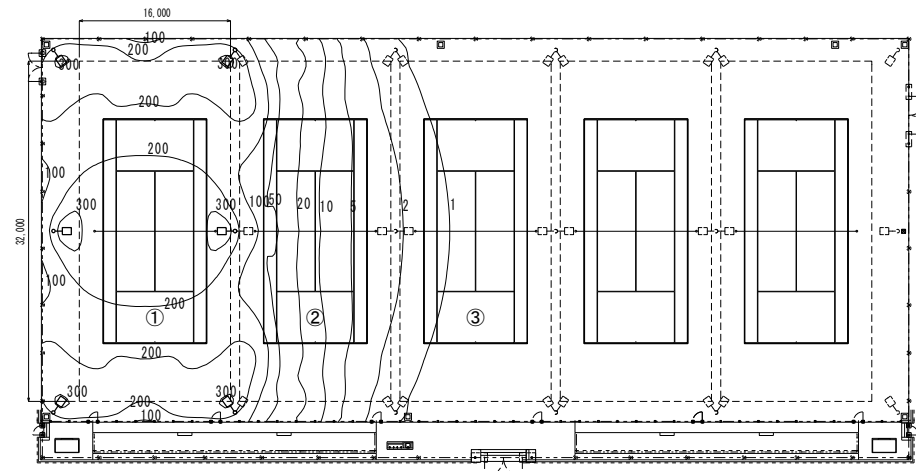
点灯: ○-□ 消灯: ~-□

照度・GR及び計算範囲	JIS照度基準 区分Ⅲ	
	② 576 m <sup>2</sup>	③ 576 m <sup>2</sup>
維持平均照度 (lx)	200	247
照度均斉度 (最小/平均)	0.50	0.52
GR最大値	55	44.9

(注記)

1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。単位: (lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。
3. 地面の反射率は15%(芝)とする。
4. 光束は器具単体の値とする。

照度分布図 ①点灯 S=1:150  
(JISⅢ、鋼管H=6m)



凡例	○-□	○-□	○-□
照明器具形式	ET30001/NSAJ2 (器具角度15)	ET30001/NSAJ2 × 2 (器具角度15)	ET30001/NSAJ2 × 2 (器具角度15)
光源	昼白色LED		
光束 (lm)	44,500	44,500 × 2	44,500 × 2
アクセサリ	なし	なし	なし
保守率	0.93		
灯高 (m)	6.3	6.3	6.3
出幅 (m)	0.3	0.3	0.3
数量 (台)	6	8	4

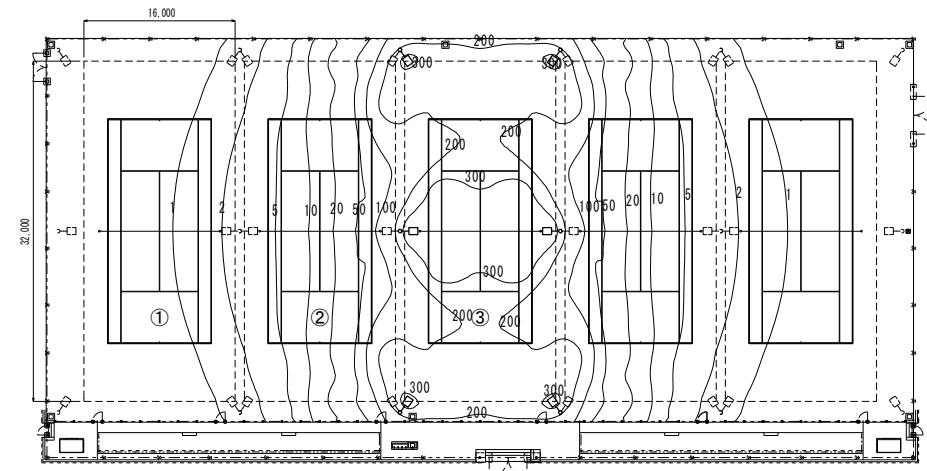
点灯: ○-□ 消灯: ~-□

照度・GR及び計算範囲	JIS照度基準 区分Ⅲ	
	① 576 m <sup>2</sup>	③ 576 m <sup>2</sup>
維持平均照度 (lx)	200	222
照度均斉度 (最小/平均)	0.50	0.53
GR最大値	55	45.9

(注記)

1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。単位: (lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。
3. 地面の反射率は15%(芝)とする。
4. 光束は器具単体の値とする。

照度分布図 ③点灯 S=1:150  
(JISⅢ、鋼管H=6m)



凡例	○-□	○-□	○-□
照明器具形式	ET30001/NSAJ2 (器具角度15)	ET30001/NSAJ2 × 2 (器具角度15)	ET30001/NSAJ2 × 2 (器具角度15)
光源	昼白色LED		
光束 (lm)	44,500	44,500 × 2	44,500 × 2
アクセサリ	なし	なし	なし
保守率	0.93		
灯高 (m)	6.3	6.3	6.3
出幅 (m)	0.3	0.3	0.3
数量 (台)	6	8	4

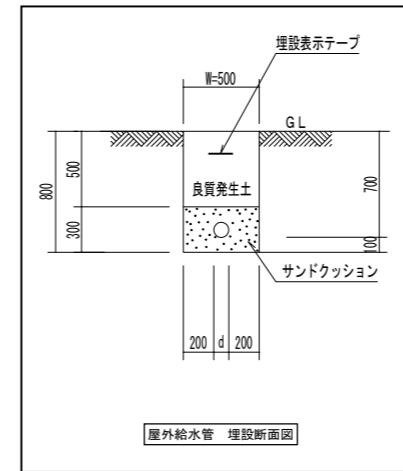
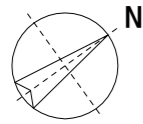
点灯: ○-□ 消灯: ~-□

照度・GR及び計算範囲	JIS照度基準 区分Ⅲ	
	③ 576 m <sup>2</sup>	③ 576 m <sup>2</sup>
維持平均照度 (lx)	200	247
照度均斉度 (最小/平均)	0.50	0.52
GR最大値	55	44.9

(注記)

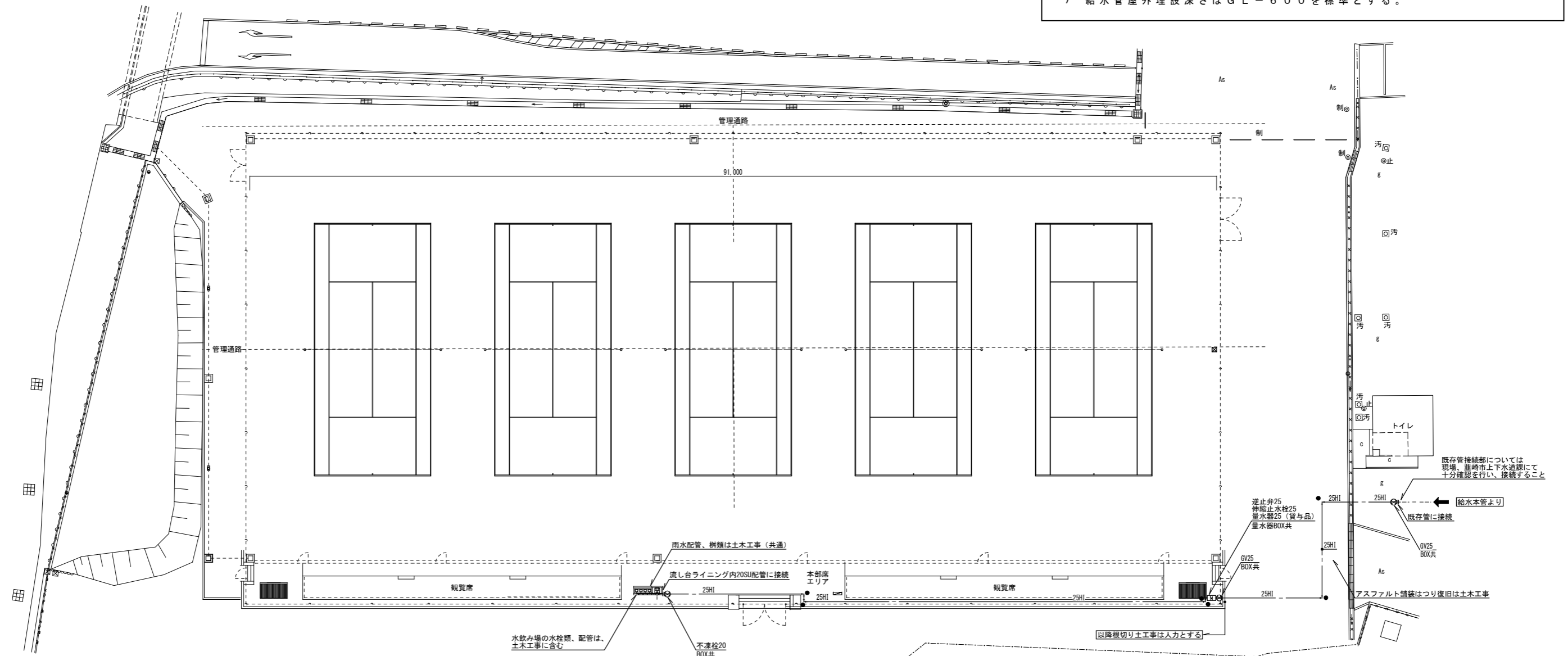
1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。単位: (lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。
3. 地面の反射率は15%(芝)とする。
4. 光束は器具単体の値とする。

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	照度分布図(参考)		
作成年月日	令和	年	月 日
縮尺	N.S	図面番号	E-06
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	蕨 崎 市		



**機械設備特記仕様書**

- 1 本工事施工に関しては、本特記仕様書 設計図書 関係官庁規則により施工する。特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版』に準拠するもののほか、監督員の指示に従うものとする。
- 2 本工事に関する法令、条例及び規則等は良くこれを厳守し、必要な書類、検査立会い、申請届等は、遅滞なく代行し工事の進捗に支障のないようにする。申請等に要する費用は、全て請負者の負担とする。
- 3 各種の施工は事前に施工図、制作図、承認図等を提出し監督員の承認を得ること。
- 4 本工事に於て満水試験、水圧試験、気密試験、通水試験等の各試験は、係員立会いのもとに行うものとし、試験結果成績表等を提出すること。
- 5 既存管よりの取り出し、配管施工は他既存管を十分に調査し、後日支障なきよう確認して施工する。
- 6 本工事での既存施設の既存配管の敷設直し工事が発生した場合は、本工事負担にて行うこと。
- 7 給水管屋外埋設深さはGL-600を標準とする。



**凡例**

記号	名称	仕様	規格	備考
— — — — — SU — — — — —	屋内埋設給水管	ステンレス鋼管 SUS 316	JIS G 3448	拡管式継手
— — — — — HL — — — — —	屋外埋設給水管	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP	JIS K 6742	接着式継手

**凡例**

- 注記1) ・太線は新設配管を示す。  
 注記2) ・-----は既設配管を示す。  
 注記3) ・● は地中埋設標(鉄製)を示す。

※水道加入金は別途とする  
 ※重崎市上下水道課と協議確認の上施工を進めること  
 ※雨水、排水工事は土木工事とする

工事名	市営総合運動場テニスコート改修工事設計業務委託		
図面名	機械設備平面図		
作成年月日	令和 年 月 日	図面番号	M-01
縮尺	1 : 200	図面番号	M-01
会社名	株式会社 馬場設計		
事業者名	重 崎 市		